

申請書類作成の手引き

令和4年度

AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金

トラック輸送の省エネ化推進事業

目次

<u>1. はじめに</u>	4
<u>2. 提出が必要な書類</u>	5
<u>3. 書類作成にあたっての共通注意事項</u>	6
<u>4. 補助金交付申請書・申請者情報</u>	7
<u>5. 実施計画書</u>	31
<u>6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）</u>	50
<u>7. 使用機器・部品一覧</u>	70
<u>8. 見積書（書式例）</u>	77
<u>9. システム機器資料</u>	88
<u>10. 参考資料（計算シート__トンキロ&燃料使用量記入例）</u> .	90

1. はじめに

この資料では、「令和4年度 AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金」のうち、「トラック輸送の省エネ化推進事業」の申請に必要な書類の準備や作成について説明いたします。

交付規程および公募要領をご確認いただいた上で、本資料をご活用いただきますようお願いいたします。

※注意※

- ・ 申請は事業ホームページにある申請システムにて行ってください。
- ・ ダウンロードした各ファイルのファイル形式を変換しないでください。
- ・ ファイルをダウンロード後は、管理が容易なフォルダなどに格納してください。
- ・ リース事業者による複数のトラック事業者との申請や事業用トラックと自家用トラックをわけて申請する場合は、ファイルが混同しないよう気を付けてください。

※表示されているイメージについては、実際の画面と配色等が異なる場合があります。

1. はじめに②

申請者例

- ・ログインID : 49×××
- ・代表申請者 : ○○輸送株式会社
- ・共同申請者 : 株式会社××リース
- ・申請システム : 車両動態管理システム（デジタコ導入型）、
配車計画システム
- ・申請台数 : 40台（事業用25台、自家用15台）

上記の事業者による申請と仮定して説明いたします。途中、必要に応じて例外についても補足いたします。

2. 提出が必要な書類

申請時に必要な書類は下表のとおりです。

	書類名称	フォーマット	ファイル名	形式	備考
1	補助金交付申請書・申請者情報	指定	04dotai_sinsei.xlsx	Excel	
2	実施計画書	指定	04dotai_keikaku.xlsx	Excel	
3	計算シート（トンキロ&燃料使用量）	指定	04keisan_tonkiro_s.xlsx	Excel	
4	使用機器・部品一覧	指定	04dotai_buhin.xlsx	Excel	
5	見積書	任意 （書式例あり）	- (04dotai_mitsumori.xlsx)	- (Excel)	2社以上から見積を取得すること
6	システム機器資料	任意	-	-	

1～4：事業ホームページよりダウンロードをした申請書類を用いて作成してください。

5：事業ホームページ上に書式例を掲載していますが任意のフォーマットによる提出が可能です。

6：任意の形式で提出してください。

3. 書類作成にあたっての共通注意事項

ホームページからダウンロードした各ファイルへの情報入力を行う際は、以下の点に注意してください。

- ・台数、箇所数、社数、金額等の数字入力は半角数字で入力する。
- ・日付の入力は、西暦/月/日を半角で入力する。
- ・他のセルからコピー&ペーストをしない。
- ・プルダウン選択などの制限がかけられている箇所に指定した値以外を入力しない。
- ・入力後は、各ファイルの「エラー確認シート」にてエラーの有無を確認する。
- ・各入力箇所の移動については、マウスまたはTabキーで移動する。
- ・**グレーアウト** の欄は入力不可、**グリーン** の欄は自動反映。

4. 補助金交付申請書・申請者情報①

補助金交付申請書および申請者情報は、事業ホームページより「補助金交付申請書・申請者情報（04dotai_sinsei.xlsx）」をダウンロードして作成してください。

このファイルでは、交付申請に係る様式・提出書類のうち、以下を作成することができます。

- ・ 補助金交付申請書（様式第1）
- ・ 補助金交付申請書（様式第1）別紙
- ・ 補助金交付申請書（様式第1）別紙2
- ・ 申請者情報

4. 補助金交付申請書・申請者情報②

ファイルを開く→入力シートへ移動

使い方

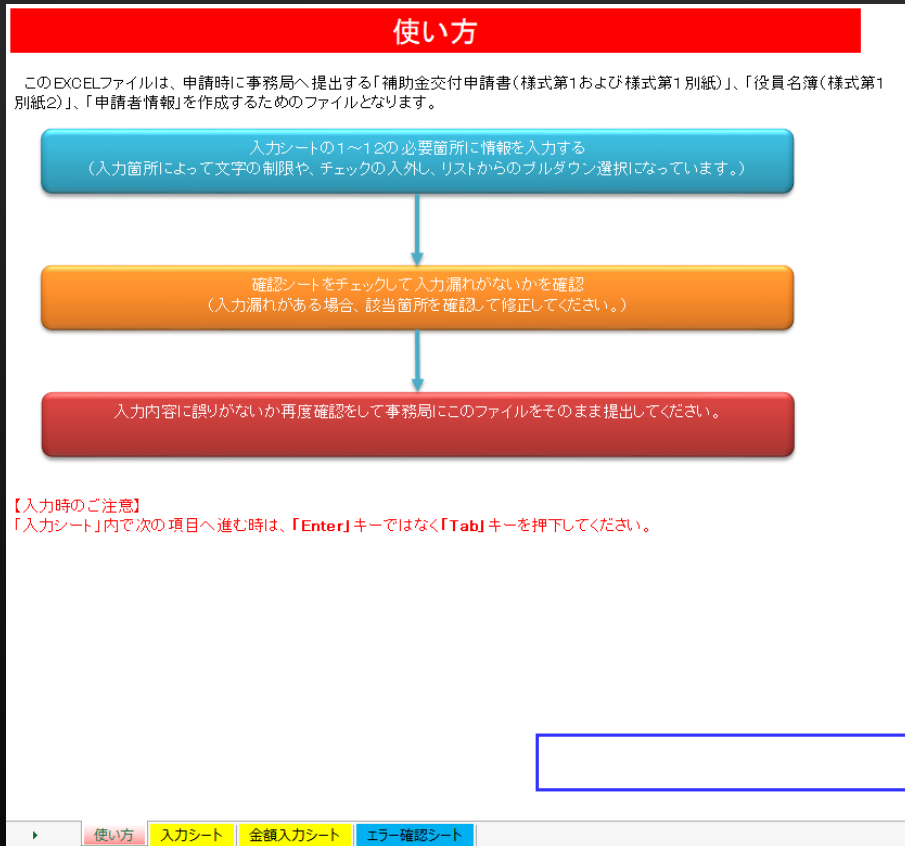
このEXCELファイルは、申請時に事務局へ提出する「補助金交付申請書(様式第1および様式第1別紙)」、「役員名簿(様式第1別紙2)」、「申請者情報」を作成するためのファイルとなります。

入力シートの1~12の必要箇所に情報を入力する
(入力箇所によって文字の制限や、チェックの入外し、リストからのプルダウン選択になっています。)

確認シートをチェックして入力漏れがないかを確認
(入力漏れがある場合、該当箇所を確認して修正してください。)

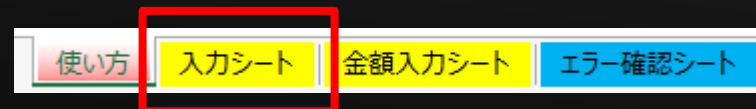
入力内容に誤りがないか再度確認をして事務局にこのファイルをそのまま提出してください。

【入力時のご注意】
「入力シート」内で次の項目へ進む時は、「Enter」キーではなく「Tab」キーを押下してください。



ダウンロードしたファイルを開くと、「使い方」シートが表示されます。

画面下部のシート選択タブから「入力シート」をクリックして画面を移動してください。



4. 補助金交付申請書・申請者情報③

代表申請者と共同申請者の組み合わせを選択

入力シート

※の箇所は必須項目です。入力漏れがないよう注意してください。

はじめに…
代表申請者及び共同申請者の組み合わせを下記から選択してください。※
代表申請者が「トラック事業者」、共同申請者が「リース事業者」
下記の1～12の文章にしたがって、各項目に情報を入力してください。

1. 文書番号を入力してください。(空欄可)
文書番号は、申請者が必要に応じて使用してください。

2. 文書作成日を【西暦/月/日】半角英数で入力してください。※
例) 令和4年6月15日の場合、【2022/6/15】と入力
公募公表(令和4年8月8日)よりも前の日付および申請受付期間(令和4年9月26日)を過ぎた日付は入力できません。

3. 代表申請者の住所、法人名、代表者の役職名、氏名、生年月日、性別、申請者に該当する区分を入力してください。※
【注意】補助金は、代表申請者にお支払いいたしますのでお気を付けください。

住所

郵便番号 -

都道府県 プルダウンで選択してください 例)東京都

市区町村 例)●●区

町名地番 例)■町1-2-3 地番は略式表記

建物名称 例)★ビル6F 階数はF表記

法人名

ホウジンメイ(全角)

代表者 役職名は、申請者情報と同じ表記で入力してください。

役職名

姓

名

「はじめに…」の項目で代表申請者と共同申請者の組み合わせをプルダウンリストから選択してください。
トラック事業者や荷主等が単独で申請する場合は、「共同申請者が「なし」」となっている項目を選択してください。

トラック事業者とリース事業者による共同申請および荷主等とリース事業者による共同申請の場合は、どちらが代表申請者になるかで選択項目が異なります。

補助金は、代表申請者に支払われます

入力欄の項目に※がある場合は、入力必須です。

4. 補助金交付申請書・申請者情報④

1. 文書番号 / 2. 文書作成日の入力

入力シート

※の箇所は必須項目です。入力漏れがないよう注意してください。
はじめに…
代表申請者及び共同申請者の組み合わせを下記から選択してください。※
代表申請者が「トラック事業者」、共同申請者が「リース事業者」

下記の1～12の文章にしたがって、各項目に情報を入力してください。

1. 文書番号を入力してください。(空欄可)
R4文-1234
文書番号は、申請者が必要に応じて使用してください。

2. 文書作成日を【西暦/月/日】半角英数で入力してください。※
YYYY/MM/DD 例) 令和4年9月15日の場合、【2022/9/15】と入力
公募公表(令和4年8月9日)よりも前の日付および申請受付期間(令和4年9月26日)を過ぎた日付は入力できません。

3. 代表申請者の住所、法人名、代表者の役職名、氏名、生年月日、性別、申請者に該当する区分を入力してください。※
【注意】補助金は、代表申請者にお支払いいたしますのでお気を付けください。

住所

郵便番号 []-[]

都道府県 []プルダウンで選択してください 例)東京都

市区町村 [] 例)●●区

町名地番 [] 例)■町1-2-3 地番は略式表記

建物名称 [] 例)★ビル6F 階数はF表記

法人名 []

ホウジンメイ(全角) []

代表者 役職名は、申請者情報と同じ表記で入力してください。

役職名 []

姓 []

名 []

文書番号は、社内にて文書管理上必要な場合に付与してください。空欄であっても不備にはなりません。

入力方法は、西暦4桁/月1～2桁/日1～2桁です。
例) 作成日が「令和4年9月15日」の場合、
“2022/9/15”と半角で入力してください。

<不備となるもの>

- ・公募公表日（2022年（令和4年）8月9日）よりも前の日付
- ・申請受付期間の最終日（2022年（令和4年）11月7日）を過ぎた日付

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑤

3.代表申請者／4.共同申請者の情報入力

3. 代表申請者の住所、法人名、代表者の役職名、氏名、生年月日、性別、申請者に該当する区分を入力してください。※
【注意】補助金は、代表申請者にお支払いいたしますのでお気を付けてください。

住所

郵便番号	<input type="text" value="XXX-XXXX"/>	
都道府県	<input type="text" value="東京都"/>	プルダウンで選択してください 例)東京都
市区町村	<input type="text" value="イロハ区"/>	例)●●区
町名地番	<input type="text" value="XXX町X-X"/>	例)■町1-2-3 地番は略式表記
建物名称	<input type="text" value="XXビル2F"/>	例)★ビル6F 階数はF表記
法人名	<input type="text" value="〇〇株式会社"/>	
ホウジンメイ(全角)	<input type="text" value="〇〇カブシキガイシャ"/>	

代表者 役職名は、申請者情報と同じ表記で入力してください。

役職名	<input type="text" value="代表取締役"/>	
姓	<input type="text" value="貨物"/>	
名	<input type="text" value="太郎"/>	
セイ(全角)	<input type="text" value="カモツ"/>	
メイ(全角)	<input type="text" value="タロウ"/>	
生年月日	<input type="text" value="YYYY/MM/DD"/>	例)昭和32年7月29日の場合、【1957/7/29】と入力
性別	<input checked="" type="radio"/> 男	プルダウンで選択してください。

申請者に該当する区分 ※代表申請者が「荷主等」、または「リース事業者」の場合は入力不要です。
※【エ】は、各団体の構成員の運送事業者が補助対象となるシステムを導入する場合に限り、この場合において、当該構成員と共同で申請してください。

補助対象事業者区分 [ア] 貨物自動車運送事業者 プルダウンで選択してください。

申請者の住所、法人名、代表者等についての入力欄です。
単独申請の場合は、“3.代表申請者”のみを入力します。
共同申請の場合は、“3.代表申請者”と“4.共同申請者”の双方に入力をします。
入力項目は、共通となっているため“3.代表申請者”を例として説明します。

住所は、郵便番号、都道府県、市区町村、町名地番、建物名称に分けて入力してください。

- ・ 郵便番号は、前3桁と後4桁に分けて入力。
- ・ 都道府県は、プルダウンリストから選択。
- ・ 市区町村は、所在の基礎自治体（最小の自治体）までを入力。
- ・ 町名地番は、基礎自治体よりも後ろから番地までを入力。
- ・ 建物名称は、ある場合にのみ入力。ない場合は空欄。※「なし」等は入力しない。

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑥

3.代表申請者／4.共同申請者の情報入力（つづき）

3. 代表申請者の住所、法人名、代表者の役職名、氏名、生年月日、性別、申請者に該当する区分を入力してください。※
【注意】補助金は、代表申請者にお支払いいたしますのでお気を付けてください。

住所

郵便番号

都道府県 プルダウンで選択してください 例)東京都

市区町村 例)●●区

町名地番 例)■●町1-2-3 地番は略式表記

建物名称 例)▲▲ビル2F 階数は略式表記

法人名

ホウジンメイ(全角)

代表者 役職名は、申請者情報と同じ表記で入力してください。

役職名

姓

名

セイ(全角)

メイ(全角)

生年月日 例)昭和32年7月29日の場合、【1957/7/29】と入力

性別 男 プルダウンで選択してください。

申請者に該当する区分 ※代表申請者が「荷主等」、または「リース事業者」の場合は入力不要です。
※【エ】は、各団体の構成員の運送事業者が補助対象となるシステムを導入する場合があります。
この場合において、当該構成員と共同で申請してください。

補助対象事業者区分 プルダウンで選択してください。

法人名および法人名のカナ表記の入力欄です。

法人名には法人格を含め登記上の法人名を入力してください。
○○輸送などの法人格の省略や○○輸送（株）などの略式表記は不備となる場合があります。

ホウジンメイ（全角）には法人名同様に法人格を含めた名称のカナ表記を全角で入力してください。口座名義ではないため、小さなアイウエオツヤユヨをアイウエオツヤユヨと変換しないでください。

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑦

3.代表申請者／4.共同申請者の情報入力（つづき）

3. 代表申請者の住所、法人名、代表者の役職名、氏名、生年月日、性別、申請者に該当する区分を入力してください。※
【注意】補助金は、代表申請者にお支払いいたしますのでお気を付けてください。

住所
郵便番号
都道府県 プルダウンで選択してください 例)東京都
市区町村 例)●●区
町名地番 例)■町1-2-3 地番は略式表記
建物名称 例)★ビル6F 階数はF表記
法人名
ホウジンメイ(全角)

代表者 役職名は、申請者情報と同じ表記で入力してください。
役職名
姓
名
セイ(全角)
メイ(全角)
生年月日 例)昭和32年7月29日の場合、【1957/7/29】と入力
性別 男 プルダウンで選択してください。

申請者に該当する区分 ※代表申請者が「荷主等」または「リース事業者」の場合は入力不要です。
※【エ】は、各団体の構成員の運送事業者が補助対象となるシステムを導入する場合があります。
この場合において、当該構成員と共同で申請してください。
補助対象事業者区分 プルダウンで選択してください。

申請する法人の代表者に関する情報の入力欄です。

※担当者の入力欄ではないので注意してください。

役職については、本事業ですべて統一した表記を使用してください。

<不備となるもの>

・代表取締役と代表取締役社長など表記が不統一のもの

セイ（全角）、メイ（全角）についても同様に戸籍上の氏名の正しい読みで入力してください。
生年月日および性別は、役員名簿にも反映されるため漏れなく入力してください。

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑧

3.代表申請者／4.共同申請者の情報入力（つづき）

3. 代表申請者の住所、法人名、代表者の役職名、氏名、生年月日、性別、申請者に該当する区分を入力してください。※
【注意】補助金は、代表申請者にお支払いいたしますのでお気を付けてください。

住所
郵便番号
都道府県 プルダウンで選択してください 例)東京都
市区町村 例)●●区
町名地番 例)■町1-2-3 地番は略式表記
建物名称 例)★ビル6F 階数はF表記
法人名
ホウジンメイ(全角)

代表者 役職名は、申請者情報と同じ表記で入力してください。
役職名
姓
名
セイ(全角)
メイ(全角)
生年月日 例)昭和32年7月29日の場合、【1957/7/29】と入力
性別 プルダウンで選択してください。

申請者に該当する区分 ※代表申請者が「荷主等」または「リース事業者」の場合は入力不要です。
※【エ】は、各団体の構成員の運送事業者が補助対象となるシステムを導入する場合に限り、この場合において、当該構成員と共同で申請してください。

補助対象事業者区分 プルダウンで選択してください。

補助対象事業者区分の入力欄です。

以下より選択をしてください。

- トラック事業者：【ア】 貨物自動車運送事業者
【イ】 第二種貨物利用運送事業者
【ウ】 自家用トラック事業者
【エ】 ア又はイを構成員に含む団体

荷主等： 選択不要

リース事業者： 選択不要

※共同申請の場合は、「4.共同申請」に共同申請者分の情報を入力してください。

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑨

5. 申請区分の選択および関連する情報の入力

5. 申請区分の選択、それに伴う入力を行ってください。※
【注意】グレーアウトしている区分は選択できません。

①～⑧の中で申請する区分を選択してください。

①車両動態管理システム

予約受付システム等は以下の該当するシステムにプルダウンでチェックを入れてください。

②予約受付システム

※代表申請者または共同申請者が荷主等の場合、申請可能です

③ASNシステム

※代表申請者または共同申請者が荷主等の場合、申請可能です

④受注情報事前確認システム

※代表申請者または共同申請者が荷主等の場合、申請可能です

⑤パレット等管理システム

※代表申請者または共同申請者が荷主等の場合、申請可能です

⑥パレタイズシステム

※代表申請者または共同申請者が荷主等の場合、申請可能です

⑦配車計画システム

⑧AI・IoTによるシステム関係ツール

※⑧のみ単独で申請することはできません。必ず①～⑦のいずれか1つ以上のシステムとともに申請してください。

↓以下の枠内に入力をしてください。



プルダウンで選択

申請するシステムを選択します。

申請が可能なシステムは以下のとおり

■トラック事業者

①車両動態管理システム

⑦配車計画システム

のいずれか、または双方

■荷主等

②予約受付システム

③ASNシステム

④受注情報事前確認システム

⑤パレット等管理システム

⑥パレタイズシステム

⑦配車計画システム

のいずれか、またはすべて

⑧AI・IoTによるシステム関係ツールについては、当該システムのみによる申請はできません。必ず①～⑦のシステムと一緒に申請してください。

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑩

5. 申請区分の選択および関連する情報の入力（つづき）

↓以下の枠内に入力してください。

①車両動態管理システム

・申請する車両台数

事業用	<input type="text" value="25"/>	台
自家用	<input type="text" value="15"/>	台
合計	<input type="text" value="40"/>	台（自動表示）
事業所数	<input type="text" value="2"/>	箇所（上記車両の所属する事業所数）

・自社全体の保有台数

保有車両台数	<input type="text" value="270"/>	台
--------	----------------------------------	---

・車載器導入区分 ※該当する区分にチェックを入れてください。

デジタコ導入型	<input checked="" type="checkbox"/>	
GPS車載器導入型	<input type="checkbox"/>	（デジタコの導入なし又は既存所有のデジタコを利用）
サービス単独型	<input type="checkbox"/>	（車両動態管理サービスのみの導入、デジタコ・GPS車載器の購入なし）

選択した①～⑧の各システムの√（チェック）の有無によって入力が必要な項目の欄が白く変わります。左図は、車両動態管理システムの例です。車両の台数や事業所の数など数字の入力箇所は、半角数字で入力してください。

枠内が緑色の箇所は自動的に反映されるため入力不要です。

※右図のように入力欄がグレーアウトしている箇所は入力しないでください。

②予約受付システム～⑧パレタイズシステム

・補助対象設備を導入する事業所数

予約受付システム	<input type="text" value=""/>	箇所
ASNシステム	<input type="text" value=""/>	箇所
受注情報事前確認システム	<input type="text" value=""/>	箇所
パレット等管理システム	<input type="text" value=""/>	箇所
パレタイズシステム	<input type="text" value=""/>	箇所
導入事業所数(合計)	<input type="text" value="0"/>	箇所（自動表示）※複数システムを導入する事業所も1つとして数えます

・連携するトラック事業者数

トラック事業者数	<input type="text" value=""/>	社
----------	-------------------------------	---

・連携する車両台数

事業用	<input type="text" value=""/>	台
自家用	<input type="text" value=""/>	台
合計	<input type="text" value="0"/>	台（自動表示）

・連携するトラック事業者全体の保有車両台数

保有車両台数	<input type="text" value=""/>	台
--------	-------------------------------	---

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑪

6. 補助対象経費

6. 見積書や公募要領のP. ●～●を参考に、各システムの補助対象経費の金額を入力してください。※
(枠内の色が白い箇所のみ入力してください。)

・車両動態管理システム		金額の入力はこちらから
設備費	¥11,239,800	金額入力シートから反映
諸経費	¥2,290,000	金額入力シートから反映
合計	¥13,529,800	
補助金の額	¥4,800,000	
・予約受付システム等		
設計開発費		個別のシステムを設計・開発するための費用
設備費		システムを運用するために必要な機器や装置
諸経費		取付工賃、システムライセンス、利用費等
合計	¥0	
補助金の額	¥0	
・配車計画システム		
設計開発費	¥4,807,000	個別のシステムを設計・開発するための費用
設備費	¥625,340	システムを運用するために必要な機器や装置
諸経費	¥8,900	取付工賃、システムライセンス、利用費等
合計	¥5,441,240	
補助金の額	¥2,720,000	
・AI・IoTによるシステム連携ツール		
設計開発費		個別のシステムを設計・開発するための費用
設備費		システムを運用するために必要な機器や装置
諸経費		取付工賃、システムライセンス、利用費等
合計	¥0	
補助金の額	¥0	
・合計金額		
補助対象経費	¥18,971,040	
補助金の額	¥7,520,000	

【注意】補助金の額は、交付決定時に金額が変わることがあります。

“5. 申請区分の選択”内容によって白色の欄に各システムの補助対象経費を費用項目ごとに入力してください。

ただし、車両動態管理システムについては、1台あたりの上限金額があるため「金額の入力はこちらから」をクリックして、専用シート（「金額入力シート」）で1台あたりの金額を入力することで算出します。

※P.18～21参照

車両動態管理システム以外については、設計開発費、設備費、諸経費ごとの合計金額を入力してください。

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑫

6. 補助対象経費（つづき）

金額入力シート【車両動態管理システム】

車両動態管理システムの申請については、本シートにて1台ずつ設備費、諸経費の金額を入力すること
申請台数は 台です。 [入力シートにもどる](#)

No.	補助対象経費				補助対象経費 合計	補助金の額 (上限12万円)
	設備費① (デジタコ本体、GPS 機器、周辺パーツ等 の車両の設備費)	設備費② (ソフトウェア等の事務 所用機器)	諸経費① (デジタコや周辺パー ツの取付費、クラウド 通信利用費)	諸経費② (ソフトウェアライセ ンス、ソフトウェア設定 費/利用費等)		
1	1台あたりの金額 ¥267,800	全箇所数分の金額 ¥527,800	1台あたりの金額 ¥54,300	全箇所数分の金額 ¥118,000	1台あたりの金額 ¥338,245	¥120,000
2	<2台目以降の金額も 同じ場合は✓を選択す ること				全台分の補助金の額 ¥4,800,000	

対象となる経費（全額）：
・運行管理や取組分析を行うために必要となるソフトウェアなど**主に事業場で使用する設備の費用**

設備費②
(ソフトウェア等の事務
所用機器)

全箇所数分の金額

同じ場合は✓を選択す

設備費①
(デジタコ本体、GPS
機器、周辺パーツ等
の車両の設備費)

1台あたりの金額

<2台目以降の金額も

対象となる経費（1台あたり）：
・デジタコ本体や通信機器、デジタコを使用するために必要な周辺パーツや取組を行うために必要なオプションパーツなど**車両台数分必要な設備の費用**

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑬

6. 補助対象経費（つづき）

金額入力シート【車両動態管理システム】						
車両動態管理システムの申請については、本シートにて1台ずつ設備費、諸経費の金額を入力すること 申請台数は <input type="text" value="40"/> 台です。						
No.	設備費① (デジタコ本体、GPS 機器、周辺パーツ等 の車両の設備費)		設備費② (ソフトウェア等の事務 所用機器)		補助対象経費 合計	
	1台あたりの金額	全箇所数分の金額	1台あたりの金額	全箇所数分の金額	1台あたりの金額	補助金の額 (上限12万円)
1	¥267,800	¥527,800	¥54,300	¥118,000	¥338,245	¥120,000
2					¥0	¥0
					全箇所数分の補助金の額	¥4,800,000

諸経費②
(ソフトウェアライセン
ス、ソフトウェア設定
費/利用費等)

全箇所数分の金額

全

対象となる経費（全台）：

- ・ 運行管理や取組分析を行うために必要となるソフトウェアのライセンス費用
- ・ 上記ソフトウェアの設定費
- ・ デジタコやシステムを使用するための説明会費用

事務所用機器に対する諸経費

諸経費①
(デジタコや周辺パー
ツの取付費、クラウド
通信利用費)

1台あたりの金額

ること

対象となる経費（1台あたり）：

- ・ デジタコ本体や周辺パーツ等の取付費
- ・ デジタコの通信利用費

車両台数分必要な諸経費

必要箇所の入力が完了後
クリックをして「入カ
シート」へ戻る

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑭

6. 補助対象経費（つづき）

金額入力シート【車両動態管理システム】						
車両動態管理システムの申請については、本シートにて1台ずつ設備費、諸経費の金額を入力すること						
申請台数は <input type="text" value="40"/> 台です。 入カシートにもどる						
No.	補助対象経費				補助対象経費 合計 1台あたりの金額	補助金の額 (上限12万円)
	設備費① (デジタコ本体、GPS 機器、周辺パーツ等 の車両の設備費) 1台あたりの金額	設備費② (ソフトウェア等の事務 所用機器) 全箇所数分の金額	諸経費① (デジタコや周辺パー ツの取付費、クラウド 通信利用費) 1台あたりの金額	諸経費② (ソフトウェアライセ ンス、ソフトウェア設定 費/利用費等) 全箇所数分の金額		
1	¥267,800	¥527,800	¥54,300	¥118,000	¥338,245	¥120,000
	<input type="checkbox"/> <<2台目以降の金額も同じ場合は✓を選択すること				全台分の補助金の額	¥492,000
2					¥16,145	¥8,000

車両動態管理システムについては、「金額入力シート」で1台あたりの設備費、諸経費と事務所用機器とその諸経費などに分けて入力を行います。

<<2台目以降の金額も同じ場合は✓を選択すること

デジタコ本体、GPS機器、ハーネス、取付金具など車両に取り付ける設備とその取付費用や通信利用費などの諸経費を合計した1台あたりの単価がすべて同額の場合には✓を選択すること。

デジタコ本体、GPS機器、ハーネス、取付金具など車両に取り付ける設備とその取付費用や通信利用費などの諸経費を合計した1台あたりの単価に一部でも異なる金額がある場合は空欄とすること。

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑮

6. 補助対象経費 (つづき)

金額入力シート【車両】					
車両動態管理システムの申請については、本シートにて1台ずつ設備費、諸経費の金額を入力すること					
申請台数は 40 台です。					
No.	設備費①	設備費②	諸経費①	補助対象経費	
	(デジタコ本体、GPS機器、周辺パーツ等の車両の設備費)	(ソフトウェア等の事務所用機器)	(デジタコや周辺パーツの取付費、クラウド通信利用費)	1台あたりの金額	1台あたりの金額
1	¥267,800	¥527,800	¥54,300	¥267,800	¥54,300
2	¥267,800	¥527,800	¥54,300	¥267,800	¥54,300
3	¥267,800	¥527,800	¥54,300	¥267,800	¥54,300
4	¥267,800	¥527,800	¥54,300	¥267,800	¥54,300
5	¥278,900	¥527,800	¥54,300	¥278,900	¥54,300
6	¥278,900	¥527,800	¥54,300	¥278,900	¥54,300
				¥351,845	¥120,000
				¥351,845	¥120,000

<<2台目以降の金額も同じ場合は✓を選択すること

- ・ 導入する車載器等の単価が異なる場合
 - ・ 一部の車両にのみ取り付けるパーツ等がある場合
- > 枠内は空欄のままにする。
 > No.2以降の「設備費①」、「諸経費①」を入力する。

金額入力シート【車両動態管理システム】						
車両動態管理システムの申請については、本シートにて1台ずつ設備費、諸経費の金額を入力すること						
申請台数は 40 台です。						
No.	設備費①	設備費②	諸経費①	諸経費②	補助対象経費	補助金の額 (上限12万円)
	(デジタコ本体、GPS機器、周辺パーツ等の車両の設備費)	(ソフトウェア等の事務所用機器)	(デジタコや周辺パーツの取付費、クラウド通信利用費)	(ソフトウェアライセンス、ソフトウェア設定費/利用費等)	合計	
1	¥267,800	¥527,800	¥54,300	¥118,000	¥338,245	¥120,000
2					0	0
3					0	0
4					0	0
5					0	0
6					0	0
					全台分の補助金の額	¥4,800,000

<<2台目以降の金額も同じ場合は✓を選択すること

- ・ 1台あたりの設備費、諸経費の単価がすべて同一価格の場合
- > 枠内に「✓」をプルダウンリストから選択する。
 > No.2以降は何も入力しない。

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑬

6. 補助対象経費（つづき）

6. 見積書や公募要領のP. ●～●を参考に、各システムの補助対象経費の金額を入力してください。※
(枠内の色が白い箇所のみ入力してください。)

・車両動態管理システム <small>金額の入力はこちらから</small>		
設備費	¥11,239,800	金額入力シートから反映
諸経費	¥2,290,000	金額入力シートから反映
合計	¥13,529,800	
補助金の額	¥4,800,000	
・予約受付システム等		
設計開発費		個別のシステムを設計・開発するための費用
設備費		システムを運用するために必要な機器や装置
諸経費		取付工賃、システムライセンス、利用費等
合計	¥0	
補助金の額	¥0	
・配車計画システム		
設計開発費	¥4,807,000	個別のシステムを設計・開発するための費用
設備費	¥625,340	システムを運用するために必要な機器や装置
諸経費	¥8,900	取付工賃、システムライセンス、利用費等
合計	¥5,441,240	
補助金の額	¥2,720,000	
・AI・IoTによるシステム連携ツール		
設計開発費		個別のシステムを設計・開発するための費用
設備費		システムを運用するために必要な機器や装置
諸経費		取付工賃、システムライセンス、利用費等
合計	¥0	
補助金の額	¥0	
・合計金額		
補助対象経費	¥18,971,040	
補助金の額	¥7,520,000	

【注意】補助金の額は、交付決定時に金額が変わることがあります。

“5. 申請区分の選択”内容によって白色の欄に各システムの補助対象経費を経費ごとに入力してください。

金額入力シートから自動反映されます。
合計は補助対象経費の合計金額です。
補助金の額は1台あたり12万円を上限として算出しています。

申請するすべてのシステムの補助対象経費と補助金の額です。自動反映されます。

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑰

7. 補助事業に要する経費

7. 見積書や公募要領のP. ●～●を参考に、各システムの**補助事業に要する経費**の金額を入力してください。※(枠内の色が白い箇所のみ入力してください。)

(補助事業に要する経費とは、補助対象経費を含む事業全体にかかる経費のことです。)

補助対象経費以外に導入にかかる費用がない場合はプルダウンからチェックしてください。

補助事業に要する経費		¥9,913,240
・車両動態管理システム		
設備費	¥6,780,000	補助対象経費+補助対象外のシステム開発費等
諸経費	¥2,489,000	補助対象経費+PC本体、スマートフォン等
合計	¥9,269,000	補助対象経費+補助対象外設備の取付費用等
・予約受付システム等		
設計開発費		補助対象経費+補助対象外のシステム開発費等
設備費		補助対象経費+PC本体、スマートフォン等
諸経費		補助対象経費+補助対象外設備の取付費用等
合計	¥0	
・配車計画システム		
設計開発費	¥10,000	補助対象経費+補助対象外のシステム開発費等
設備費	¥625,340	補助対象経費+PC本体、スマートフォン等
諸経費	¥8,900	補助対象経費+補助対象外設備の取付費用等
合計	¥644,240	
・AI・IoTによるシステム連携ツール		
設計開発費		補助対象経費+補助対象外のシステム開発費等
設備費		補助対象経費+PC本体、スマートフォン等
諸経費		補助対象経費+補助対象外設備の取付費用等
合計	¥0	
・合計金額		
補助事業に要する経費	¥9,913,240	

“5. 申請区分の選択”内容によって白色の欄に各システムの補助対象に要する経費を費用項目ごとに入力してください。

補助対象経費と同額 補助対象経費以外に導入にかかる費用がない場合はプルダウンからチェックしてください。

補助対象外となる経費が発生しない（補助対象経費の金額=補助事業に要する経費の金額）場合は✓を選択してください。金額の入力は不要となります。

入力方法は、補助対象経費を参照してください。ただし、「車両動態管理システム」は、「金額入力シート」ではなく、設備費・諸経費の合計額をこのシートで直接入力してください。

同じシステムの同じ費用項目において、補助事業に要する経費が補助対象経費を下回ることはないため、必ず入力した金額や見積書の内容を確認してください。

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑱

8. 事業完了予定年月日

8. 事業の完了予定年月日を【西暦/月/日】半角英数で入力してください。※

2023/1/15

例) 令和4年12月23日の場合、【2022/12/23】と入力

実績完了期限(令和5年1月20日)よりも後の日付にならないよう注意してください。

入力方法は、西暦4桁/月1～2桁/日1～2桁です。

例) 作成日が「令和5年1月15日」の場合、

“2023/1/15”と半角で入力してください。

※“1/15”のみを入力すると、「2022/1/15」となるため西暦から入力してください。

<不備となるもの>

事業完了期限（2023年（令和5年）1月20日）を過ぎた日付

4. 補助金交付申請書・申請者情報⑱

9. 担当者の情報 / 10. 共同申請者の連絡先

9. 補助事業の窓口となる担当者の部署、役職、氏名、連絡先を入力してください。※

法人名	<input type="text"/>
↑ 代表申請者の法人名と異なる場合にのみ入力してください	
担当部署	<input type="text" value="運行管理部"/>
役職名	<input type="text" value="係長"/>
・氏名	
姓	<input type="text" value="戸楽"/>
名	<input type="text" value="次郎"/>
・連絡先	
電話番号	<input type="text" value="03XXXXXXXX"/> ハイフンなしで入力すること
FAX番号	<input type="text" value="03XXXXXXXX"/> ハイフンなしで入力すること
E-mailアドレス	(アカウント) <input type="text" value="jtoraku"/> @ <input type="text" value="〇〇yuso.co.jp"/>
ホームページURL	<input type="text" value="http://〇〇yuso.jp"/>

共同申請の場合、図面の赤枠内について"10. 共同申請者の連絡先"と共通の内容となっているため必要箇所を忘れずに入力してください。

法人名

↑ 代表申請者の法人名と異なる場合にのみ入力してください

担当者は原則、代表申請者の法人に属している方としてください。
関連企業による複数の申請をいずれかの申請者の中から一人の方が担う場合は、この限りではありません。

※代表申請者に属していない方が担当者の場合は、共同申請者であっても必ず法人名を入力してください。

※販売会社等の申請者ではない方は認められません。

4. 補助金交付申請書・申請者情報②

9. 担当者の情報 / 10. 共同申請者の連絡先 (つづき)

9. 補助事業の窓口となる担当者の部署、役職、氏名、連絡先を入力してください。*

法人名

↑ 代表申請者の法人名と異なる場合にのみ入力してください

担当部署

役職名

氏名

姓

名

連絡先

電話番号 ハイフンなしで入力すること

FAX番号 ハイフンなしで入力すること

E-mailアドレス (アカウント)

(ドメイン) @

ホームページURL

担当部署

役職名

担当部署、役職名がある場合は必ず入力してください。

氏名

姓

名

氏名の姓と名は必ずわけて入力してください。

連絡先

電話番号 ハイフンなしで入力すること

FAX番号 ハイフンなしで入力すること

E-mailアドレス (アカウント)

(ドメイン) @

ホームページURL

連絡先のうち、電話番号、E-mailアドレスは必ず入力してください。
FAX番号、ホームページURLについては空欄でも問題ありません。

※すべて半角で入力すること

※共同申請の場合は、「10. 共同申請者の連絡先」も同様に入力すること

4. 補助金交付申請書・申請者情報②

1 1. 代表者の役員情報 / 1 2. 共同申請者の役員情報

11. 代表申請者の役員の数と代表者(31に入力した人物)以外の役員の名前、生年月日、性別を入力してください。※(枠内の色が白い箇所のみ入力してください。)
2つの法人が共同で申請する場合、ここでは代表申請者の役員について入力してください。共同申請者については、次の12.の項に入力してください。
役員の数
(3.1に記載した代表者も含む)
枠内が白色の箇所に役職、氏名、生年月日、性別を入力してください。

役職	姓	名	セイ(全角)	メイ(全角)	生年月日	性別
1 代表取締役	貨物	太郎	カモツ	タロウ	mm/mm/yy	男 ←3.1より自動反映
2 取締役専務	路地果	丁子	ロジス	テイコ	mm/mm/yy	女
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

単独申請の場合は"1 1. 代表者の役員情報"のみ、共同申請の場合は"1 1. 代表者の役員情報"および"1 2. 共同申請者の役員情報"の双方に入力が必要です。

入力フォームはどちらも同じ形式のため、"1 2. 共同申請者の役員情報"については割愛します。

役員の数を選択してください。

1人目については、すでに入力した代表者が反映されます。複数人いる場合は、全員の役職、氏名等の情報を漏れなく入力してください。

4. 補助金交付申請書・申請者情報②

1 1. 代表者の役員情報 / 1 2. 共同申請者の役員情報 (つづき)

(別紙2)

令和 4 年 8 月 9 日

役員名簿

法人名
▲▲トラック株式会社

役職名	氏名 漢字	氏名 カナ	生年月日				性別
			和暦	年	月	日	
外部監査	与薬受太郎	ヨヤクウケタロウ	S	YY	MM	DD	M

「様式第1_別紙2(予備)」シートへ16人目以降の役員情報について、法人名、役職、姓、名、セイ(全角)、メイ(全角)、生年月日、性別をすべて入力してください。

※ 日付は2. 文書作成日で入力した情報が自動で反映されます。

4. 補助金交付申請書・申請者情報②④

エラー確認シート

入力シート 金額入力シート エラー確認シート

入力シートにて各項目の情報入力完了後、「エラー確認シート」へ移動してください。

プルダウンにて「はい」を選択します。

確認シート

入力シート1~12の各項目の入力が終わりましたか？ 終わったらプルダウンから「はい」を選択してください。

必須項目に空欄箇所があるため、下の表を参考にすべて入力してください。

項目	入力状況	備考
代表申請者及び共同申請者	NG	代表申請者及び共同申請者の組み合わせを入力してください。
1. 文書番号	入力あり	
2. 文書作成日	OK	

項目ごとにエラーの有無が表示されます。

「NG」は必ず修正が必要です。

「空欄あり」は見直して問題がなければ修正等は不要です。

※このエラー確認シートは入力漏れ防止のための機能です。内容に不備がある場合は、事務局より別途連絡いたします。

4. 補助金交付申請書・申請者情報②

各書類の確認

様式第1_本紙 | 様式第1_別紙1 | 様式第1_別紙2 (代表申請者) | 様式第1_別紙2 (共同申請者) | 様式第1_別紙2 (予備) | 車両動態管理システム | 予約受付システム等 | 配車計画システム | AI・IoTによるシステム連携ツール

(様式第1)

第 R4文-1234 号
令和 Y 年 M 月 D 日

パシフィックコンサルタンツ株式会社
首都圏本社 本社長 殿
パシフィックリブサービス株式会社
代表取締役社長 殿

申請者 住所 東京都イロハ区XXX町
X-X-X
XXビル2F
法人名 ○○輸送株式会社
代表者名 代表取締役 貨物 太郎

令和 4 年度AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（トラック輸送の省エネ化推進事業）補助金交付申請書

AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（トラック輸送の省エネ化推進事業）交付規程第4条の規定に基づき、下記のとおり上記補助金の交付を申請します。

1. 補助事業の名称 ○○輸送株式会社 トラック輸送、配車計画システムの省エネ化推進事業

2. 補助事業の実施計画
(別添 実施計画書による)

3. 補助金交付申請額
(1) 補助事業に要する経費 24,500,900 円
(2) 補助対象経費 18,971,040 円

4. 補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の額
(別紙1による)

5. 補助事業の開始及び完了予定年月日
(1) 開始年月日 交付決定年月日
(2) 完了予定年月日 令和 5 年 1 月 15 日

(注) 申請書には、次の事項を記載した書面を添付すること。
(1) 申請者が申請者以外の者と共同して補助事業を行う場合にあつては、当該事業に係る契約書の写し
(2) 申請者の役員名簿 (別紙2)
(3) その他PCKKが指示する書面等

《備考》用紙は、日本産業規格A4とし、縦位置とする。

申請者情報

入力完了後は、図の様式第1のように「入力シート」で入力した情報が各申請書類に反映されます。
申請書類については、提出する前に**すべて確認をしてください**。
なお、入力不備が見つかった場合は、必ず「入力シート」で修正をしてください。
※様式のシートへ直接修正はしないでください。
※入力の必要がなかったシートであっても削除はしないでください。

5. 実施計画書①

実施計画書は、事業ホームページより「実施計画書（04dotai_keikaku.xlsx）」をダウンロードして作成してください。

このファイルでは、交付申請に係る様式・提出書類のうち、以下を作成することができます。

- ・実施計画書

5. 実施計画書②

ファイルを開く

実施計画書(1枚目)			
申請するシステム ※下記に該当するシステムにチェックを入れる※1			
<input type="checkbox"/>	車両動態管理システム	事業者名(トラック事業者)	
<input type="checkbox"/>	①デジタコ導入型		実施予定車両台数
<input type="checkbox"/>	②GPS車載器導入型		
<input type="checkbox"/>	③サービス単独型		
<input type="checkbox"/>	予約受付システム等	事業者名(荷主等)	
<input type="checkbox"/>	①予約受付システム		
<input type="checkbox"/>	②ASNシステム		
<input type="checkbox"/>	③受注情報事前確認システム		
<input type="checkbox"/>	④パレット等管理システム	実施する事業所数	実施予定車両台数
<input type="checkbox"/>	⑤パレットシステム		
<input type="checkbox"/>	配車計画システム	事業者名(トラック事業者又は荷主等)	
		実施する事業所数	実施予定車両台数
<input type="checkbox"/>	AI・IoTによるシステム 連携ツール	事業者名(トラック事業者又は荷主等)	
		実施する事業所数	実施予定車両台数
	実施予定 車両総数	※申請したシステムごとに実施予定の車両の延べ台数ではなく実台数を入力すること。 ※複数のシステムで同一車両を併用する場合は、重複する台数を除外した実台数を入力すること。	
台			
連携予定の荷主等/トラック事業者			
連携先	運送契約締結の有無	発/着等 発荷主	連携予定の契約社数

1
1

実施計画書 エラー確認シート

ダウンロードしたファイルを開くと、図のような画面が表示されます。
このシートへ直接情報を入力してください。

※以下のような場合は、**ファイルを2枚以上作成することが必要**です。

- 区分AおよびBを1つずつ以上実施することに加えて独自の取組を行う場合
- 区分AまたはB、あるいは区分AおよびBを2つ以上実施する場合

5. 実施計画書③

申請するシステム

<input checked="" type="checkbox"/>	車両動態管理システム
<input checked="" type="checkbox"/>	①デジタコ導入型
<input type="checkbox"/>	②GPS車載器導入型
<input type="checkbox"/>	③サービス単独型
<input type="checkbox"/>	予約受付システム等
<input type="checkbox"/>	①予約受付システム
<input type="checkbox"/>	②ASNシステム
<input type="checkbox"/>	③受注情報事前確認システム
<input type="checkbox"/>	④パレット等管理システム
<input type="checkbox"/>	⑤パレタイズシステム
<input checked="" type="checkbox"/>	配車計画システム
<input type="checkbox"/>	AI・IoTによるシステム 関係ツール

申請するシステムすべてに✓を入れてください
(プルダウンリストから選択)

※申請するシステムによって取組内容が異なるため、2ファイル以上作成する場合でも、申請するシステムすべてに✓を選択すること。

- ・車両動態管理システムと予約受付システム等は同時に申請できません。
- ・AI・IoTによるシステム関係ツールは、他のシステムに✓がないと申請できません。
- ・車両動態管理システムまたは予約受付システム等を申請する場合は、その内訳となる導入型式やシステムについてもすべて✓を選択してください。

5. 実施計画書④

申請するシステム（つづき）

<input checked="" type="checkbox"/>	車両動態管理システム	事業者名(トラック事業者)	
<input checked="" type="checkbox"/>	①デジタル導入型	〇〇輸送株式会社	
<input type="checkbox"/>	②GPS車載器導入型	実施予定車両台数	
<input type="checkbox"/>	③サービス単独型	30 台	
<input type="checkbox"/>	予約受付システム等	事業者名(荷主等)	
<input type="checkbox"/>	①予約受付システム	実施する事業所数	
<input type="checkbox"/>	②ASNシステム	実施予定車両台数	
<input type="checkbox"/>	③受注情報事前		
<input type="checkbox"/>	④パレット等管理システム		
<input type="checkbox"/>	⑤パレタイズシステム		
<input checked="" type="checkbox"/>	配車計画システム	事業者名(トラック事業者又は荷主等)	
		〇〇輸送株式会社	
		実施する事業所数	
		2 箇所	
		実施予定車両台数	
		20 台	
<input type="checkbox"/>	AI・IoTによるシステム 関係ツール	事業者名(トラック事業者又は荷主等)	
		実施する事業所数	
		実施予定車両台数	

✓を入れたシステムに応じて、事業者名、実施予定車両台数、実施する事業所数の入力欄が入力可能となります。

事業者名：

- ・ 入力する法人名は登記上の法人名を正しく入力すること
× (株) → ○株式会社
- ・ システムを導入するトラック事業者名または荷主等の法人名を入力すること

※代表申請者がこの欄に該当するとは限りません。

実施する事業所数：

- ・ 実際にシステムの導入を予定している事業所の箇所数を入力すること

実施予定車両台数：

- ・ 車両動態管理システムは、車載器本体等の導入システムを設置する車両の全台数を入力すること
 - ・ 車両動態管理システム以外は、導入システムによって取組を行う車両台数を入力すること
- なお、システム導入効果に十分な検証を図るため、可能な限り多くの車両で実施するよう努めること

5. 実施計画書⑤

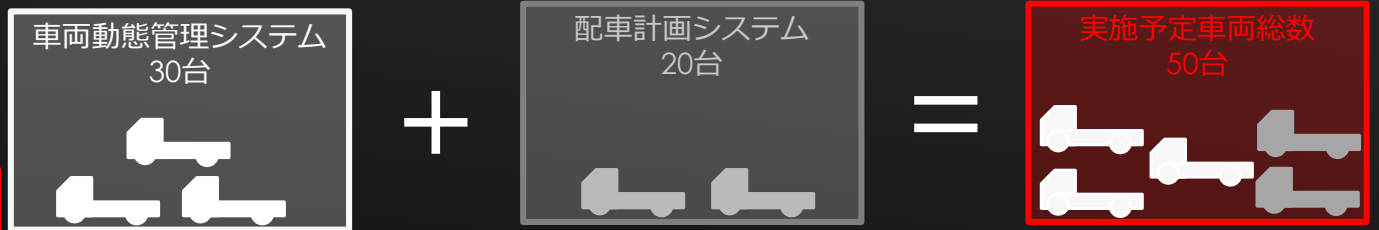
申請するシステム (つづき)

<input checked="" type="checkbox"/>	車両動態管理システム	事業者名(トラック事業者)	
<input checked="" type="checkbox"/>	①デジタコ導入型	〇〇輸送株式会社	
<input type="checkbox"/>	②GPS車載器導入型		実施予定車両台数
<input type="checkbox"/>	③サービス単独型		30 台
<input type="checkbox"/>	予約受付システム等	事業者名(荷主等)	
<input type="checkbox"/>	①予約受付システム		
<input type="checkbox"/>	②ASNシステム		
<input type="checkbox"/>	③受注情報事前確認システム		
<input type="checkbox"/>	④パレット等管理システム	実施する事業所数	実施予定車両台数
<input type="checkbox"/>	⑤パレタイズシステム		
<input checked="" type="checkbox"/>	配車計画システム	事業者名(トラック事業者又は荷主等)	
		〇〇輸送株式会社	
		実施する事業所数	実施予定車両台数
		2 箇所	20 台
<input type="checkbox"/>	AI・IoTによるシステム 関係ツール	事業者名(トラック事業者又は荷主等)	
		実施する事業所数	実施予定車両台数
実施予定車両総数		40 台	

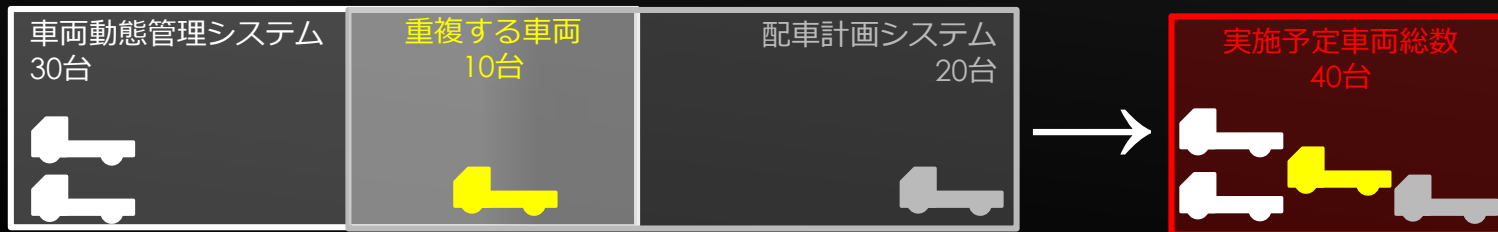
※申請したシステムごとに実施予定の車両の延べ台数ではなく(実)台数を入力すること。
※複数のシステムで同一車両を併用する場合は、重複する台数を除いた実台数を入力すること。

実施予定車両総数を入力してください。
ただし、以下の点に注意してください。

【複数の導入システムの取組を異なる車両で行う場合】
車両動態管理システムの実施予定車両台数が30台、配車計画システムの実施予定車両台数が20台で、**車両が1台も重複していない**場合、**実施予定車両総数は50台**となる。



【複数の導入システムの取組を一部あるいはすべて同じ車両で行う場合】
同様の台数で、**うち10台が車両動態管理システムと配車計画システム双方の取組を行う**場合、**実施予定車両総数は40台**となる。



5. 実施計画書⑥

申請するシステム（つづき）

連携予定の荷主等/トラック事業者			
連携先	運送契約締結の有無	発/着等	連携予定の契約社数
荷主等	有り	発荷主	3 社
		着荷主	2 社
		元請事業者	0 社
	無し	発荷主	0 社
		着荷主	0 社
		元請事業者	0 社
トラック事業者	有り	-	0 社
	無し	-	0 社

✓を入れたシステムに応じて、連携先となる事業者の社数が入力可能となります。

以下の点に注意して連携予定の契約社数を入力してください。

- ・ **少なくとも1社以上と連携を行うこと**
- ・ 申請者が**トラック事業者の場合、荷主等と連携すること**。また、申請者が**荷主等の場合は、トラック事業者と連携すること**
- ・ 必ずしもこの項目で入力した**社数分の事業者と連携を行う必要はないが、連携の提案は入力した社数分の事業者に行うこと**

5. 実施計画書⑦

トラック事業者と荷主等との連携において期待される効果

1 1 2	トラック事業者と荷主等との連携において期待される効果※2 (申請車両1台あたり10日間の合計を記入)	連携前	燃料使用量(ℓ/台・10日) 713.74	トン・キロ(t・km/台・10日) 19,891.16	トン・キロあたりの燃料使用量 0.04 ℓ/t・km		
	連携後	燃料使用量(ℓ/台・10日) 674.51	トン・キロ(t・km/台・10日) 20,394.65	トン・キロあたりの燃料使用量 0.03 ℓ/t・km			
	全体の省エネルギー量(燃料削減量)の計画値	連携前 トンキロあたり 燃料使用量	－	連携後 トンキロあたり 燃料使用量	× 申請車両 台数	燃料削減量 0.1123697 ℓ	
	トンキロあたりの燃料削減率の計画値	1－	連携後 トンキロあたり 燃料使用量	÷	連携前 トンキロあたり 燃料使用量	× 100	燃料削減率 7.8 %

以下の点に注意して連携前／後の燃料使用量、トン・キロの推定値を入力してください。

- ・「計算シート（トンキロ&燃料使用量）」を使用して実態に即した推定値を入力すること
- ※「計算シート（トンキロ&燃料使用量）」についてはP.50～を参照
- ・入力した推定値から図の青枠内のように燃料削減率が自動算出される。燃料削減率が1%以上となるよう実施計画を立案すること。

※燃料削減率が反映されない場合は、実施予定車両総数が入力されているか確認すること

5. 実施計画書⑧

トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容

実施計画書(2枚目)		
導入事業者名	車両動修管理システム	〇〇輸送株式会社
	予約受付システム等	
	配車計画システム	〇〇輸送株式会社
	AI・IoTによるシステム連携ツール	
トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容 ^{*3}		
連携メニュー番号		
区分	A	2
区分	B	6

導入事業者名は、1枚目から自動で反映されるため入力する必要はありません。

区分Aおよび区分Bの連携メニュー番号を下表を参考に、それぞれ1つ以上選択してください。

区分A/連携メニュー

番号	概要	実施サービスの例
1	事前の車両到着予定時刻の共有	<ul style="list-style-type: none"> 車両受入れスペース確保や作業準備等による待ち時間削減 中継拠点で積み替えや車両の準備等による待ち時間削減
2	輸送距離及び輸送時間の削減	<ul style="list-style-type: none"> 配送順、輸送ルートの見直し 車両重量や車高で通行可能なルートの確認（車両サイズ、運行ルートの実績） 高速道路等の利用による時間短縮
3	交通状況等に応じた案内誘導による最適な輸送ルートの選択	<ul style="list-style-type: none"> 混雑道路の回避等（配送順、輸送ルートの変更等） 荷主への到着予定時刻のお知らせ 交通規制による迂回（原因として、天候、工事、事故等の要因）
4	積荷量に対する適正なサイズの車両配車	<ul style="list-style-type: none"> 小ロット配送～大量輸送への対応 同一方面への荷物の集約

5. 実施計画書⑨

トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容（つづき）

区分B／連携メニュー

番号	概要	実施サービスの例
5	予約受付システム等の導入による荷主側の受入れ体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・予約受付システム等の活用（バースや集荷・集配の予約、荷物情報等の事前共有、積卸作業のロボット化等による荷待ち・積卸時間の削減） ・積卸人員の確保等の荷主側における作業体制構築
6	発着時刻の調整	<ul style="list-style-type: none"> ・発荷主と着荷主間での配送計画を見直し、時間指定の調整等（荷物情報の事前共有システム等を活用した調整） ・車両待機時間発生の原因の解消
7	納品日・時間の平準化の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・荷主との協議による配送計画の見直し、納品日の分散化 ・午前納品から午後・夜間に転換 ・輸送時間帯拡大等
8	積載余力がある車両の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・混載化・共同化や積み付け方法改善による積載率向上（積卸作業のロボット化による対応等） ・求貨求車システムや受注情報事前共有システム等との連携等
9	納品頻度見直しや配送ロット引き上げによる輸送頻度の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・過剰サービスや在庫管理の見直し ・満載での輸送、車両大型化等 ・配送依頼の前倒し（受注情報共有システム等による早期の発注） ・同一方面への荷物の集約（日時変更等の日程調整）

予約受付システム等導入時に限り選択可能

5. 実施計画書⑩

トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容（つづき）

区分B／連携メニュー

番号	概要	実施サービスの例
10	帰り荷確保など空荷車両の有効活用（実車率向上）	<ul style="list-style-type: none">・実燃費、時間、空車情報、積載物等の実績
11	他社とのドライバーや作業者の共有	<ul style="list-style-type: none">・業務量変動や長距離輸送での作業待機時間の削減、乗員交代による休息アイドリング時間削減等・受注情報事前共有システムやパレット等管理システム等による引継ぎ効率化
12	荷主の自家輸送からトラック事業者による輸送への転換	<ul style="list-style-type: none">・混載や共同輸送による積載率向上等・輸送方法の転換による輸送ルートの見直し・受注情報事前共有システム等の活用による転換促進
13	他社との共同配送や倉庫の共同化	<ul style="list-style-type: none">・他社との共同配送、混載化等・他社との倉庫の共同化、自社倉庫の活用等・受注情報事前共有システムやパレット等管理システム等の活用による共同配送の促進
14	物流拠点や倉庫の適正配置・統廃合による効率化	<ul style="list-style-type: none">・輸送ルートを考慮した移設等・荷受け場所の調整・自社倉庫の活用等

5. 実施計画書⑪

トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容（つづき）

区分B／連携メニュー

番号	概要	実施サービスの例
15	工場直送への転換	<ul style="list-style-type: none">・ 地域物流拠点を経由せずに工場から卸・小売DCへ直送・ 輸送ルート短縮や冷蔵冷凍温度の維持等による燃費向上
16	モーダルシフトの推進	<ul style="list-style-type: none">・ 長距離・大量輸送の鉄道・船舶利用等・ 輸送機関のダイヤに合わせた発着時刻の調整
17	その他	<ul style="list-style-type: none">・ 区分A・Bのいずれにも該当しない連携策

3つ目以降の取組
として選択可

17 その他については、区分Aの1～4、区分Bの5～16を実施計画した上で、3つ目以降の連携メニューとして選択することが可能です。

区分Aのみから2つ以上の選択や、区分Bのみから2つ以上の選択はできません。必ず区分Aのメニュー番号1～4の中から1つと区分Bのメニュー番号5～16の中から1つ選択してください。そのうえで3つ目以降のメニューを行う場合は、新たに実施計画書の2ファイル目として作成をしてください。

5. 実施計画書⑫

トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容（つづき）

トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容※3			
連携メニュー番号			
区分	A	2	区分 B 6
必須取得情報			
1	走行距離	1	走行距離
2	輸送量及び積載率	2	輸送量及び積載率
3	燃料使用量	3	燃料使用量
Aメニューに応じた取得情報		Bメニューに応じた取得情報	
4	走行時間	4	荷積み・荷卸し
5	平均速度	5	荷待ち時間
6	走行距離(高速道路)	6	発着時刻
7	交通情報	7	温度情報
8		8	
9		9	

区分AおよびBで選択したメニュー番号や導入設備、予定している取組案が既にあればその内容に沿った取得情報を選択してください。

※この項目はプルダウンリストからの選択形式のため、リスト外の取得情報がある場合は、中間および実績報告時に提出する「総括分析データ（総括表）」にて追加取得情報として報告してください。

必ず情報を取得し報告

各取得情報の項目については次ページ以降も参考に選択をしてください。

走行距離、輸送量及び積載率、燃料使用量については、中間および実績報告時に提出する「総括分析データ（総括表）」に報告が必要となるため注意してください。

5. 実施計画書⑬

トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容（つづき）

取得情報の名称	区分	取得／報告が必要となる条件等
走行距離	必須	取組内容等に関わらず必須
輸送量および積載率	必須	取組内容等に関わらず必須
燃料使用量	必須	取組内容等に関わらず必須
走行時間	任意	輸送にかかる時間の削減・短縮を図りたい場合
平均速度	任意	取組の中でスピードセンサー等を活用する場合
走行距離（高速道路）	任意	取組の中で高速道路を使用して省エネ効果の向上を図りたい場合
荷積み・荷卸し	任意	荷積みや荷卸しにかかる時間の削減・短縮を図りたい場合

5. 実施計画書⑭

トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容（つづき）

取得情報の名称	区分	取得／報告が必要となる条件等
荷待ち時間	任意	荷役場の混雑などに起因する荷待ち時間の削減・短縮を図りたい場合
荷待ち時間（うちアイドリング時間）	任意 ※	荷待ち時間の中でもアイドリングをしている間の時間の削減・短縮を図りたい場合
早着による待機時間	任意	荷役場に早着したことに起因する荷待ち時間の削減・短縮を図りたい場合
休憩	任意	取組の中で休憩時間を調整する等によって省エネ効果の向上を図りたい場合
発着時刻	任意	取組の中で発着時刻や発着回数を調整する等によって省エネ効果の向上を図りたい場合

荷主等は必須

荷主等が行う取組については、荷待ち時間（うちアイドリング時間）から算出する
"荷待ち時間からの「燃料使用量の推計値」"の報告が必須となります。

公募要領P.8参照

5. 実施計画書⑮

トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容（つづき）

取得情報の名称	区分	取得／報告が必要となる条件等
積載情報	任意	積載の効率化等によって省エネ効果の向上を図りたい場合
空車情報	任意	空車による運行の削減・短縮を図りたい場合
交通情報	任意	渋滞等に起因する走行距離や走行時間の削減・短縮を図りたい場合
温度情報	任意	取組の中で温度センサー等を活用する場合

上記表では区分に「任意」としてありますが、報告をしなくても良いという意味ではありません。事業者区分、申請するシステム、導入する設備、選択したメニュー番号によっては不備として再提出を求められることがあります。

5. 実施計画書⑬

トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容（つづき）

連携メニュー番号					
区分	A	2	区分	B	6
必須取得情報					
主な輸送品目			主な輸送品目		
番号	品目		番号	品目	
31	日用品		31	日用品	
メニュー実施によって解消を図る省エネの課題			メニュー実施によって解消を図る省エネの課題		
現状のルートにおける渋滞多発による走行時間の長時間化			荷積み・荷卸し場所における他の貨物事業者との到着時刻が重複してしまうことによる待機時間の増加		

実施計画書

エラー確認シート

輸送品目



主な輸送品目は「輸送品目」シートを参考に番号のみを入力してください。区分AとBで同じ品目であっても双方に入力をしてください。

メニュー実施によって解消を図る省エネの課題には以下を参考に具体的かつ簡潔に入力をしてください。

- ・何が問題点かを明記すること
例) 走行時間の削減、長時間による荷待ちの常態化 等
- ・問題が起きている原因が判明している場合は入力すること
例) 交通渋滞による、荷役場の混雑による 等
- ・労務的な内容、経済的な内容に偏らず、省エネ効果向上の視点で入力すること
例) × : ドライバーの拘束時間短縮化、燃料費を削減する 等
○ : 荷待ちによるアイドリング時間の短縮化、燃料使用量を削減する 等

5. 実施計画書⑱

トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容（つづき）

連携メニュー番号					
区分	A	2	区分	B	6
必須取得情報					
主な輸送品目			主な輸送品目		
番号	品目		番号	品目	
31	日用品		31	日用品	
メニュー実施によって解消を図る省エネの課題			メニュー実施によって解消を図る省エネの課題		
現状のルートにおける渋滞多発による走行時間の長時間化			荷積み・荷卸し場所における他の貨物事業者との到着時刻が重複してしまうことによる待機時間の増加		
トラック事業者と荷主等との連携・提案内容※4			トラック事業者と荷主等との連携・提案内容※4		
② 発着時刻の調整			② 発着時刻の調整		
③ ルート、配達順の調整					
※5 上記で「⑧その他」を選択した場合は連携提案内容を記入			※5 上記で「⑧その他」を選択した場合は連携提案内容を記入		

区分AおよびBで選択したメニュー番号や導入設備、予定している取組案が既にあればその内容に沿った連携先への提案する内容を選択してください。

※この項目はプルダウンリストから選択形式項目のため、リスト外の提案内容がある場合は、「⑧ その他」を選択してください。図の赤枠内下部のグレーアウト箇所が入力可能になるため、提案内容を簡潔に入力してください。

連携提案内容は区分AとBそれぞれで少なくとも1つ以上選択をしてください。区分Aのみ、あるいは区分Bのみで3つ以上の提案内容がある場合は、「⑧ その他」を選択し自由記述欄に入力するか、実績報告時の自己評価結果で詳細について報告してください。

5. 実施計画書⑱

トラック事業者と荷主等との連携メニュー実施内容（つづき）

提案内容	提案が必要となる条件等
① リアルタイムの情報共有	連携先と導入システムやその他方法を活用して車両の位置情報や到着予定時刻等の情報共有を行う場合
② 発着時刻の調整	荷役場の発車時刻や到着時刻や発着の頻度などを調整する取組を行う場合
③ ルート、配送順の調整	既存のルートを変更する取組を行う場合
④ 積載率の向上	積載率の改善や空車車両を活用する取組を行う場合
⑤ 予約受付システム等の導入	予約受付システム等の導入による取組を行う場合
⑥ 配車計画システムの導入	配車計画システムの導入による取組を行う場合
⑦ AI・IoTによるシステム連携ツールの導入	AI・IoTによるシステム連携ツールの導入による取組を行う場合

上表の①～⑦に該当しない内容については、「⑧ その他」を選択し自由記述欄に入力。

5. 実施計画書①9

エラー確認シート

入力がおわったら✓を選択して、ここをクリック

すべての入力が終わったら最下部の「入力が終わったら✓を選択して、ここをクリック」の枠内に✓をプルダウンリストから選択してください。その後、文字をクリックすると「エラー確認シート」へ移動します。

実施計画書 エラー確認シート

入力項目	エラー内容	修正が必要な箇所
1 1-1 申請するシステム	【エラー】車両動態管理システムの導入区分を1つ以上選択してください。	K7、9、11
2 1-1 申請するシステム	【エラー】実施予定車両総数が0台以下または各システムの実施予定車両台数の合計を超えているため、正しく入力してください。	AL50
3 2-1 連携・提案内容	【エラー】区分Aで4を選択されている場合、④ 積載率の向上を選択してください。	C104、105
4 2-1 連携・提案内容	【エラー】区分Aで指定した項目以外の提案内容が入力されています。	C104、105
5 2-1 連携・提案内容	【エラー】区分Bで指定した項目以外の提案内容が入力されています。	C104、105、Z104、105

エラーがある場合はその内容が表示されます。
エラー内容が【エラー】は修正してください。【注意】は見直して問題がなければ修正等は不要です。

※このエラー確認シートは一般的な入力漏れ防止のための機能です。内容に不備がある場合は、別途事務局より連絡いたします。

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）①

実施計画書は、ホームページより「計算シート（トンキロ&燃料使用量）（04keisan_tonkiro_s.xlsx）」をダウンロードして作成してください。

※実績報告時に提出する「計算シート（トンキロ&燃料使用量）」とはファイルが異なります。ダウンロードおよび使用するファイルを間違えないように留意してください。

このファイルでは、交付申請に係る様式・提出書類のうち、以下を作成することができます。

- ・ 計算シート（トンキロ&燃料使用量）

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）②

ファイルを開く

The screenshot shows an Excel spreadsheet with two sheets. Sheet (1) is titled '(1) 1日1運行毎のデータ (連携前)' and contains a large table with columns for '運行日' (Operation Date), '運行時間' (Operation Time), '走行距離' (Running Distance), '燃料消費量' (Fuel Consumption), and 'CO2排出量' (CO2 Emissions). Sheet (2) is titled '(2) 車両演算計及の10日総算の運行データ (1より自動算出)' and contains a summary table with columns for '車両種別' (Vehicle Type), '走行距離' (Running Distance), '燃料消費量' (Fuel Consumption), and 'CO2排出量' (CO2 Emissions).

ダウンロードしたファイルを開くと、図のような画面が表示されます。

このシートの 箇所へ直接情報を入力してください。

このファイルは、実施計画書で提出する計画値の根拠資料となります。必ず作成のうえ、実施計画書に反映させて他の申請書類と共に提出してください。

算出シート1(連携前)

算出シート2(連携後(想定))

算出シート3(まとめ)

参考データ

このファイルは上記赤枠の図のように3つの計算シートと1つの参考データのシートで構成されています。

算出シート1（連携前）：実測あるいは運転日報などからの推測値で連携前の運行毎の数値を入力。

算出シート2（連携後（想定））：連携後の想定される数値を入力。

算出シート3（まとめ）：算出シート1および2から自動で省エネルギー効果を反映。

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）③

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（1）

1行1運行で入力

「算出シート1(連携前)」、「算出シート2(連携後(想定))」共通の注意事項として、入力箇所の1行は、1車両の1運行ごとに入力してください。
1運行は、「自社拠点から集荷先の走行を1運行」や「集荷先から配送先への走行を1運行」と図のように自社拠点の発着または荷役拠点の発着ごとにわけて入力してください。



自社拠点

集荷先A社

配送先B社

1運行

1運行

連番			
	①車両登録番号	②運行年月日	
1	xx100お1234	YYYY年MM月D1日	1運行
2	xx100お1234	YYYY年MM月D1日	1運行
3	xx100お1234	YYYY年MM月D2日	

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）④

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（2）

セルをコピーする際の注意

①車両登録番号
××100お1234

セルの連続コピー



コピー元となるセルの右下角にカーソルを合わせてクリックしたまま複数のセルに値を反映させる方法の場合、左図のように“意図しない値の反映”、“罫線の崩れ”、“関数の破損”の原因となるため**使用しない**てください。

①車両登録番号
××100お1234
××100お1235
××100お1236



値の貼り付け

1つのセルから複数のセルへ同じ値をコピーする際は、右図の手順を参考にコピーを行ってください。

①車両登録番号
××100お1234
××100お1234
××100お1234

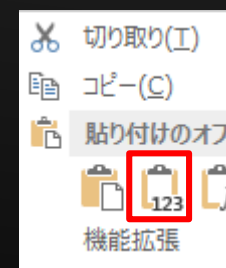
正しくコピー

①車両登録番号
××100お1234

元となるセルにカーソルを合わせて“Ctrl”+“C”または右クリックで表示したメニューからコピーを選択する

①車両登録番号
××100お1234

コピーを行いたい範囲を選択する



右クリックで再びメニューを表示させ、図の赤枠内のアイコンを選択する

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑤

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（3）

同一車両の「①車両登録番号」は同じ値ですべてに入力

連番	①車両登録番号	①車両登録番号	①車両登録番号	①車両登録番号
1	××100お1234	××100お1234	××100お1234	××100お1234
2	××100お1234		〃	お1234
3	××100お1234		〃	××100お1234
4	××100お1234		〃	××100お1234
5	××100お1234		〃	お1234
6	××100お1234	1行目だけ入力	「〃」の使用	表記の不統一
7	××100お1234			
8	××100お1234			
9	××100お1234			
10	××100お1234			

すべて統一された表記

「①車両登録番号」は、同一の車両に対しては、すべて統一した表記で漏れなく入力してください。異なるシート間でも同じ表記で入力する必要があります。1箇所でも異なる表記があると正しく燃料削減率等が算出されません。

また、申請時点で取組を行う車両が確定していない場合は、「車両1」「車両2」のように1台ごとに異なり、同一車両が統一された表記であれば問題ありません。

！ 入力は取組を実施する車両台数分必要となります。1台分ではないので留意してください。

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑥

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（4）

「②運行年月日」は10日間以上分の入力が必要

②運行年月日	②運行年月日	②運行年月日	②運行年月日
YYYY年MM月10日	XXXX年MM月10日	YYYY年MM月10日	YYYY年MM月10日
YYYY年MM月11日	YYYY年MM月11日	YYYY年MM月11日	YYYY年MM月11日
YYYY年MM月11日		〃	YYYY年MM月11日
YYYY年MM月13日	YYYY年MM月13日	YYYY年MM月13日	YYYY年MM月13日
YYYY年MM月14日	YYYY年MM月14日	YYYY年MM月14日	YYYY年MM月14日
YYYY年MM月16日	YYYY年MM月16日	YYYY年MM月16日	YYYY年MM月16日
YYYY年MM月16日		〃	YYYY年MM月16日
YYYY年MM月17日	YYYY年MM月17日	YYYY年MM月17日	YYYY年MM月17日
YYYY年MM月19日	YYYY年MM月19日	YYYY年MM月19日	YYYY年MM月19日
YYYY年MM月20日	YYYY年MM月20日	YYYY年MM月20日	YYYY年MM月20日
YYYY年MM月22日	YYYY年MM月22日	YYYY年MM月22日	
YYYY年MM月23日	YYYY年MM月23日	YYYY年MM月23日	
合計で10日間分以上	複数運行した日の1運行目だけ入力	「〃」の使用	10日間分に満たない

「②運行年月日」は、補助対象の要件にもなっているとおり、連携前、連携後ともに10日間以上のデータ取得が必要となっているため、申請時においても1台につき10日間以上分日付および後述の情報入力が必要です。

月日だけの入力でも年が表記されますが、連携前に作成時とは異なる年の日付を入力する際は、年も入力するよう留意してください。

連携後については、想定される日付が「1日目」、「2日目」のように入力することも可能です。

車両番号	稼働日数（日）
××100お123	10
××100お123	2

入力された運行年月日が10日間分に満たない場合は、左図の×箇所のように稼働日数（算出シート1はT列、算出シート2はU列）が色塗りされるのであわせて確認してください。

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑦

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（5）

「③燃料の種別」はガソリンまた軽油を選択

燃料の種別	③燃料の種別	③燃料の種別
軽油	CNG	軽油
軽油		ガソリン
軽油		軽油
軽油		軽油
軽油		ガソリン
軽油		選択項目以外
ガソリン	軽油	軽油
ガソリン		軽油
ガソリン		軽油
ガソリン		軽油
ガソリン		軽油
ガソリン		1行目だけ入力

車両1

車両2

正しく選択

「③燃料の種別」は **ガソリン** または **軽油** のいずれかをプルダウンリストから選択してください。また、以下の点に留意してください。

- ・同一車両に不統一な種別がないこと（連携前後ともに）
- ・選択漏れがないこと
- ・ガソリンまたは軽油以外を入力しないこと

※CNG車またはLPG車については、「軽油」を選択してください。また、ホームページの資料ダウンロード > その他 から「**計算シート_軽油換算表**」をダウンロードしてください。

使用方法はP.65をご覧ください。

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑧

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（6）

「④自家輸送／委託輸送」は自家輸送また委託輸送を選択

		
委託輸送	営業輸送	委託輸送
委託輸送	営業輸送	委託輸送
自家輸送	営業輸送	委託輸送
委託輸送	選択項目以外	自家用トラック で委託輸送
自家輸送		
委託輸送		
委託輸送		
委託輸送		
委託輸送		
委託輸送		
委託輸送		
正しく選択		
	委託輸送	自家輸送
		〃
		〃
1行目だけ入力		「〃」の使用

「④自家輸送／委託輸送」は 自家輸送 または 委託輸送 のいずれかをプルダウンリストから選択してください。

※委託輸送は、荷主等からの依頼による輸送（営業輸送）のことです。

また、以下の点に留意してください。

- ・事業用トラックの場合、運行毎に自家輸送／委託輸送を正しく選択すること
- ・自家用トラックの場合、委託輸送は違法
- ・選択漏れがないこと
- ・自家輸送または委託輸送以外を入力しないこと

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑨

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（7）

「⑤走行距離」は1運行毎の走行した距離を入力

⑤走行距離 (km)	
車両1	17.80
車両1	8.50
	9.60

1運行ごとに正しく入力

⑤走行距離 (km)	
車両1	3427.91
車両2	2964.60
車両3	173.52

車両ごとにまとめて入力

⑤走行距離 (km)	
1日目	312.87
2日目	298.66
3日目	336.90

日ごとにまとめて入力

「⑤走行距離」は 1行につき1車両1運行ごとに要した（連携後は想定される）走行距離をkm換算で入力してください。

また、以下の点に留意してください。

- ・車両ごと／日ごとにまとめて入力しないこと（1日1運行の場合は、そのとおりに入力すること）
- ・入力された数値が常識的に考えにくい値の場合、その根拠や証明する資料の提出を求めることがある

⑤走行距離 (km)	
	2745.30
	1269.61
	1895.30

常識的に考えにくい数値

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑩

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（8）

「⑥輸送量」は1運行毎の走行した積載量を入力

⑥輸送量 (kg)	⑥輸送量 (kg)	⑥輸送量 (kg)
車両1: 0	車両1: 54789	1日目: 3685
車両2: 780	車両2: 60369	2日目: 3568
1230	車両3: 58663	3日目: 3451
650		
0		
1運行ごとに正しく入力	車両ごとにまとめて入力	日ごとにまとめて入力

「⑥輸送量」は 1行につき1車両1運行ごとに要した（連携後は想定される）積載量をkg（キログラム）換算で入力してください。

また、以下の点に留意してください。

- ・車両ごと／日ごとにまとめて入力しないこと（1日1運行の場合は、そのとおりに入力すること）
- ・想定の数値も含めて、車両の最大積載量を超過するような数値の入力
- ・入力された数値が常識的に考えにくい値の場合、その根拠や証明する資料の提出を求める場合がある

⑥輸送量 (kg)	⑥輸送量 (kg)	⑥輸送量 (kg)	最大積載量 (kg)
常識的に考えにくい数値	648956855	0	
	856458535	1	
	534643135	1	
		1	
		0	
			積載量を超過
			3652 2100
			3859 2100
			3216 2100

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑪

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（9）

「⑦最大積載量」は当該車両すべての運行分入力

車両	⑦最大積載量 (kg)	⑦最大積載量 (kg)	⑦最大積載量 (kg)
車両1	2100	2	2100
	2100	2	2600
	2100	2	2400
	2100	tで入力	同一車両で 不統一
	2100		
	2100		
	2100		
	2100		
	2100		
	2100		
車両2	2230	2100	2100
	2230		
	2230		
	2230		
	2230		
	2230	1行目だけ 入力	" " の使用
	2230		
	2230		

正しく入力

「⑦最大積載量」は全車両、全運行分に漏れなく kg（キログラム）換算で入力してください。

また、以下の点に留意してください。

- ・同一車両に不統一な数値がないこと（連携前後ともに）
 - ※クレーンなどの取付によって最大積載量に変更が生じることが見込まれる場合、連携後と連携前で最大積載量の相違がないよう留意すること
 - ※トラクタ等で自動車検査証に[●●kg]と表記がある車両は、[]内の数値は除外して入力すること
 - ※最大積載量が25t超の車両の場合には、事務局までご連絡ください。

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑫

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（10）

「⑧燃費基準」はプルダウンリストから正しく選択

2022年基準達成		2025年基準達成
2022年基準達成		2015年基準達成 <small>車両1</small>
2022年基準達成		2022年基準達成
2022年基準達成		その他
2022年基準達成		2015年基準達成
正しく選択	空欄	同一車両で不統一
2025年基準達成	2025年基準達成	
	''	
	''	
	''	
	''	
1行目だけ入力	「''」の使用	

「⑧燃費基準」は全車両、全運行分に漏れなく“2025年基準達成”、“2022年基準達成”、“2015年基準達成”、“その他”のいずれかをプルダウンリストから選択してください。

また、以下の点に留意してください。

- ・同一車両に不統一な基準がないこと（連携前後ともに）
- ・燃費基準が選択項目にない車両や不明な車両は、“その他”を選択し、空欄としないこと

燃費基準は、自動車検査証または車体のステッカーなどで確認してください。

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑬

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（11）

連携前は「⑨燃料使用量」に必ず入力、連携後は「実施計画作成時における見込み燃料使用量」で自動算出もしくは手入力

⑨燃料使用量 (ℓ)
2.37
1.13
1.28

各運行ごとに
正しく入力

⑨燃料使用量 (ℓ)
4.78

任意の1箇所に
まとめて
入力

「⑨燃料使用量」と「実施計画作成時における見込み燃料使用量」は各運行ごとにℓ（リットル）換算で必ず入力してください。「見込み燃料使用量」欄には初期値で計算式が入っており、自動算出となります。自動算出値が実態にそぐわない場合には、手入力をしてください。

また、以下の点に留意してください。

- 各運行ごとの燃料使用量のデータ取得が難しい場合は、1運行ごとの走行距離や走行時間などで案分をして入力してください。

【例】1日3運行、総走行距離50km、燃料使用量10ℓの場合

1運行目：走行距離25km
2運行目： " 15km
3運行目： " 10km

とした場合、その割合が50%：30%：20%となるため、

1運行目：燃料使用量5ℓ
2運行目： " 3ℓ
3運行目： " 2ℓのように案分して入力

⑨燃料使用量 (ℓ)

空欄

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑭

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（12）

「⑩積載有無」は有また無を選択

⑩積載有無	⑩積載有無	⑩積載有無	⑩積載有無
有	有	有	有
無			〃
有	有		〃
無			〃
有	有		〃
各運行ごとに正しく選択	有だけ／無だけの入力	1行目だけ入力	「〃」の使用

「⑩積載有無」は入力したすべての運行に対して必ず有または無を選択してください。

また、以下の点に留意してください。

- ・有なのに積載量が0kgや無なのに積載量が0kgを超過している等の矛盾が生じないように入力すること
- ・無は自社拠点から集荷先や配送先から自社拠点への配送など空荷輸送の場合に選択すること

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑮

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（13）

「⑪荷待ち時間等削減により削減見込みの燃料使用量」は連携後のみ 必要に応じて削減想定値を入力

⑪荷待ち時間等削減により削減見込みの燃料使用量 (ℓ)
2.50
3.50

削減が見込まれる運行のみに対して想定値を入力

⑪荷待ち時間等削減により削減見込みの燃料使用量 (ℓ)
500.00
600.00
450.00

現実に即さない数値の入力

「⑪荷待ち時間等削減により削減見込みの燃料使用量」は連携後のみの項目となります。各運行ごとにℓ（リットル）換算で必要に応じて入力してください。

また、以下の点に留意してください。

- ・走行距離の削減、輸送量の向上（空車率の改善を含む）における燃料使用量の削減見込みは入力しないこと
- ・想定される燃料使用量ではなく、想定される燃料使用量の削減量を入力すること

【例】連携前：燃料使用量が5ℓの運行が連携後：4.7ℓの場合

×：4.7ℓ

○：0.3ℓ (5ℓ - 4.7ℓ = 0.3ℓ)

- ・連携前の燃料使用量を上回るような現実に即さない数値は、入力しないこと

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑬

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（14）

LPG車／CNG車は、「計算シート_軽油換算表」を使用して入力

■軽油換算表

・軽油以外の燃料種の場合は、下表等により軽油に換算した省エネ量・効果を報告すること

燃料種	燃料量	単位	軽油換算量 [L]
軽油		L	0
ガソリン		L	0
LPG（リットル）		L	0
LPG（キログラム）		kg	0
CNG		m ³	0

入力

【参考】軽油換算について

- ・軽油換算値(A) = 各燃料の使用量(a等) × (各燃料の単位発熱量の係数 ÷ 軽油の単位発熱量の係数)
- ・単位発熱量の係数: エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(下表)

その他可燃性天然ガス	43.5	GJ/km ³
LPG	50.8*0.56	GJ/kl
揮発油	34.6	GJ/kl
軽油	37.7	GJ/kl
原油	38.2	GJ/kl

※LPG: 石油ガス税法施行令より液比重を0.56 kg/とす。

転記

使用する燃料がLPGまたはCNGの車両については、「③燃料の種別」を“軽油”で選択してください。

「⑨燃料使用量」や「⑪荷待ち時間等削減により削減見込みの燃料使用量」に入力する数値については、ホームページより「計算シート_軽油換算表」をダウンロードしてください。

該当する燃料種の「燃料量」欄に燃料使用量を入力してください。

入力すると「軽油換算量」欄に軽油で使用した場合の換算量が表示されるので、その数値を「計算シート_トンキロ&燃料使用量算出」に入力してください。

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑰

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力における諸注意（15）

荷待ち時間の燃料使用量は、「計算シート_荷待ち時間燃料推計」を使用して入力

■荷待ち時間からの燃料使用量の推計値算出表

【参考】算出方法について

※荷主等の申請の場合の「燃料使用量の推計値」については、以下の算出式と軽油換算係数を用いて算出

<算出式>

$$\text{軽油使用量の推計値} = \text{荷待ち時間（分）（アイドリング時のみ）} \times \text{軽油換算係数（車両区分別）}$$

<車両区分別の軽油換算係数>

車両区分※1	車両総重量	軽油換算係数※2 （アイドリング1分あたりの 軽油消費量[ℓ/分]	荷待ち時間 （アイドリング時のみ） [分]	軽油使用量の推計値 [ℓ]
T1～T4トラック	3.5t超～ 7.5t以下	0.0061	入力	0
T5～T9トラック	7.5t超～ 16t以下	0.0080		0
T10～T11トラック	16t超	0.0135		0
TT1トラクタ	20t以下	0.0160		0
TT2トラクタ	20t超	0.0160		0

※1車両総重量による区分：T1～T11、TT1及びTT2区分は、「貨物自動車のエネルギー消費性能の向上に関するエネルギー消費機器等製造事業者等の判断の基準等」で定義されている車両総重量による区分を指す

※2一般社団法人日本自動車工業会 大型車燃費技術分科会 アイドリング時燃料消費量調査結果（平成30年度自工会燃費集計データ）に基づく

「⑰荷待ち時間等削減により削減見込みの燃料使用量」に荷待ち時間の削減による燃料使用量の削減量を入力する際は、ホームページより「計算シート_荷待ち時間燃料推計」をダウンロードしてください。

車格に応じて「荷待ち時間（アイドリング時のみ）」に削減見込みとなる分数を入力してください。

入力すると車格／分数に応じた、軽油使用量の推計値が表示されるので、「計算シート_トンキロ&燃料使用量算出」に入力してください。

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑱

算出シート1（連携前）／算出シート2（連携後（想定））の入力（つづき）

■入力後の確認

入力後に各シートのエラー判定を確認

○	×
エラー判定	エラー判定
運行データ	運行データ
エラーなし	1
エラー判定	エラーあり
OK	OK
OK	エラー
OK	OK
OK	OK

「算出シート1(連携前)」および「算出シート2(連携後(想定))」ともに入力完了後、シート内右側の「エラー判定」を確認してください。
 1運行でもエラーがある場合、「運行データ」が赤く塗られてエラーの箇所数が表示されます。運行ごとの「エラー判定」が表示されるため、「エラー」となっている運行の入力した各項目で入力や選択に誤りがないか確認の上、修正してください。エラーとなる原因は、主に走行距離や輸送量に対して燃料使用量が過度に低い、または高い場合に発生します。実態に即した数値を入力している場合で「エラー」と表示されてしまう際は、事務局までご連絡ください。

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (2/3) v1.3

【本自動計算シートの利用方法】
 ◎に1台1運行毎、1台につき10日間以上の①～⑧、⑩に関する見込み数値による運行データを入力
 ※本表は最大10000運行の入力が可能（ただし、単項は50台まで）

(3)1台1運行毎のデータ（連携後（見込み数値による想定））

連番	①車台登録番号	②運行年月日	③燃料の種類	④自費輸送/委託輸送	⑤走行距離 (km)	⑥輸送量 (kg)	⑦最大積載量 (kg)	⑧燃費基準	⑨積載有無	⑩燃料消費率 (L/t)	エラー判定	
1	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2.0	1.5	在燃費達成	有	OK
2	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
3	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2.0	1.5	在燃費達成	有	OK
4	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
5	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2.0	1.5	在燃費達成	有	OK
6	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
7	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2.0	1.5	在燃費達成	有	OK
8	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
9	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2.0	1.5	在燃費達成	有	OK
10	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
11	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2.0	1.5	在燃費達成	有	OK
12	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
13	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2.0	1.5	在燃費達成	有	OK
14	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
15	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
16	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
17	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2.0	1.5	在燃費達成	有	OK
18	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
19	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2.0	1.5	在燃費達成	有	OK
20	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
21	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
22	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2.0	1.5	在燃費達成	有	OK
23	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	20.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK
24	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2700	4000	2.0	1.5	在燃費達成	有	OK
25	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2.0	1.5	在燃費達成	有	OK
26	品川1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2.0	1.5	在燃費達成	無	OK

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑬

算出シート3（まとめ）の確認／実施計画書への反映

車両登録番号を1台1行ずつ入力

車両登録番号

車両の重複なし

××100お1234
××100お2345
××100お3456
××100お4567
××100お5678

車両登録番号

車両の重複あり

××100お1234
××100お2345
××100お2345
××100お4567
××100お5678

「算出シート1(連携前)」および「算出シート2(連携後(想定))」の入力とエラーの確認が完了したら、「算出シート3(まとめ)」を開いてください。
B列の に重複がないよう車両登録番号を入力してください。

(6)車両別の結果														(参考)車両別の省エネルギー効果	
車両登録番号	実施台数	自動算出欄：連携前(実測期間10日)						自動算出欄：連携後(実測期間10日)						省エネルギー効果	
		稼働日数(日)	走行距離(km)	輸送量(t)	平均積載率(%)	燃料使用量(ℓ)	トンキロ(t・km)	稼働日数(日)	走行距離(km)	輸送量(t)	平均積載率(%)	燃料使用量(ℓ)	トンキロ(t・km)	トンキロあたりの燃料削減量(ℓ/t・km)	トンキロあたりの燃料削減率(%)
××100お1234	1	10	654.95	32.87	87%	87.20	2152.821	10	622.2	36.81	92%	84.61	2290.318	0.003562535	8.7%
お2345	2														

シート間で相違なく車両登録番号が入力されると、連携前と連携後の10日間換算の数値が自動的に反映されます。
反映されない場合は、入力内容に相違が生じているため、見直してください。

× 入力不正しくない

○ 正しく入力

6. 計算シート（トンキロ&燃料使用量）⑳

算出シート3（まとめ）の確認／実施計画書への反映

燃料使用量とトンキロを実施計画書に入力

(5)全車両の結果（1台あたりの平均）										(参考) 全車両の省エネルギー効果		実施計画書				
実施台数	連携前				総トンキロ (t・km)	連携後				トンキロあたりの燃料削減量 (ℓ/t・km)	トンキロあたりの燃料削減率 (%)	連携前 燃料使用量(ℓ/台・10日)	連携後 燃料使用量(ℓ/台・10日)	トンキロ(t・km/台・10日)	トンキロあたりの燃料使用量	
	稼働日数 (日)	総走行距離 (km)	総輸送量 (t)	平均積載率 (%)		稼働日数 (日)	総走行距離 (km)	総輸送量 (t)	平均積載率 (%)							合計燃料使用量 (ℓ)
40	10				713.74	19891.16	10			674.51	20394.65	0.112375284	7.8%	713.74	19,891.16	0.04 ℓ/t・km
												713.74	19,891.16	0.04 ℓ/t・km		
												674.51	20,394.65	0.03 ℓ/t・km		
												$\frac{\text{連携前 トンキロあたり燃料使用量} - \text{連携後 トンキロあたり燃料使用量}}{\text{連携後 トンキロあたり燃料使用量}} \times \text{申請車両台数}$		燃料削減量		
														0.1123697 ℓ		
												$1 - \frac{\text{連携後 トンキロあたり燃料使用量}}{\text{連携前 トンキロあたり燃料使用量}} \times 100$		燃料削減率		
														7.8 %		

すべての入力が完了後、1台10日間あたりの燃料使用量とトンキロが図のように「連携前」、
 「連携後」ともに表示されるため、実施計画書に値を入力してください。
 入力間違いがないかの目安として燃料削減率の一致を確認してください。
 また、燃料削減率が1%未満となっている場合は、補助対象の要件を満たしていないため、
 実施計画の内容を見直してください。

7. 使用機器・部品一覧①

使用機器・部品一覧は、事業ホームページより

「使用機器・部品一覧（04dotai_buhin.xlsx）」をダウンロードして作成してください。

このファイルでは、交付申請に係る様式・提出書類のうち、以下を作成することができます。

- ・使用機器・部品一覧

7. 使用機器・部品一覧②

ファイルを開く

使用機器・部品一覧			
1.申請者名 ※共同申請の場合は、機器を導入する申請者名を記入			
申請者名			
2.車両動態管理システム、予約受付システム等、配車計画システム、AI・IoTによるシステム連携ツールの情報			
種類 <small>(※右記の大区分から1つを選択する。 車両動態管理システム、予約受付システム等の場合は、 小区分も選択する。)</small>	大区分		
	小区分		
複数導入する場合は、各システム毎に本紙を作成し、提出すること			
名称	メーカー名		
	品名		
3.トラック事業者と荷主等との連携で使用する機器・部品内訳 ・トラック事業者と荷主等との連携に必要な使用機器・部品を記入すること。 ・審査後、連携メニューの目的と一致しないと判断された機器は補助対象から除外される場合がある。 ・必要に応じて行を追加して使用すること。			
No.	対象設備・経費	品名	使用目的
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

ダウンロードしたファイルを開くと、図のような画面が表示されます。

このシートへ直接情報を入力してください。

※以下のような場合は、**ファイルを2枚以上作成することが必要**です。

- ・車両によって異なる車載器本体（デジタコの機種）を導入する場合
ただし、同一機種で一部の車両にのみ導入するパーツなどがある場合はまとめて作成可
- ・複数の異なるシステムに対して申請をする場合

7. 使用機器・部品一覧③

申請者名

1. 申請者名 ※共同申請の場合は、機器を導入する申請者名を記入

申請者名

〇〇輸送株式会社

申請者名には以下の点に注意して入力してください。

- ・ 入力する法人名は登記上の法人名を正しく入力すること
× (株) → ○ 株式会社
- ・ 必ずしも代表申請者名でなく、実際にシステムを導入するトラック事業者名または荷主等の法人名を入力すること

7. 使用機器・部品一覧④

車両動態管理システム、予約受付システム等、配車計画システム、
AI・IoTによるシステム関係ツールの情報

2. 車両動態管理システム、予約受付システム等、配車計画システム、AI・IoTによるシステム関係ツールの情報

種 類 (※右記の大区分から1つを選択する。 車両動態管理システム、予約受付システム等の場合は、 小区分も選択する。)	大区分	車両動態管理システム
	小区分	デジタコ導入型
名 称 複数導入する場合は、各システム毎に本紙を作成し、 提出すること	メーカー名	××××株式会社
	品 名	DP-0000

種類には以下の点に注意して入力または選択してください。

- ・大区分、小区分ともに必ずプルダウンリストから選択すること
- ・小区分は、大区分で「車両動態管理システム」または「予約受付システム等」を選択した場合に
入力可能となる。両システムのいずれかを選択した場合は、必ず小区分も選択すること

7. 使用機器・部品一覧⑤

車両動態管理システム、予約受付システム等、配車計画システム、
AI・IoTによるシステム関係ツールの情報（つづき）

名 称	メーカー名	××××株式会社
	品 名	DP-0000

名称には、車両動態管理システムであればメインとなる車載器本体のメーカー名および機種名を入力してください。それ以外のシステムについては、メインとなるシステムの名称と販売または開発メーカー名を入力してください。

メーカー名には以下の点に注意して入力してください。

- ・正しい法人名で入力すること

品名には以下の点に注意して入力してください。

- ・商品名を入力すること
- ・商品コードや機器コードを入力しないこと

7. 使用機器・部品一覧⑥

トラック事業者と荷主等との連携で使用する機器・部品内訳

3. トラック事業者と荷主等との連携で使用する機器・部品内訳

- ・トラック事業者と荷主等との連携に必要な使用機器・部品を記入すること。
- ・審査後、連携メニューの目的と一致しないと判断された機器は補助対象から除外される場合がある。
- ・必要に応じて行を追加して使用すること。

No.	対象設備・経費	品名	使用目的
1	メインハーネス	メインハーネス	車載器と車両を接続するケーブル
2	パルス変換器	パルス変換器	各種流量計から発信される信号をパルス数に変換する
3	パルス変換器用ハーネス	パルス変換器用ハーネス	車両の信号を取得するために使用するケーブル
4	車速センサー	車速センサー	車速信号取得のため

この項目には以下のことに注意して入力してください。

- ・補助対象の品目のみ入力すること連携メニューの目的と一致しないと判断された機器は補助対象から除外される場合があるため注意
- ・使用目的はわかりやすくかつ簡潔な文章とすること不明点がある場合は、補助対象から除外または申請者に確認を行う場合がある

7. 使用機器・部品一覧⑦

エラー確認シート

使用機器・部品一覧 エラー確認シート

入力シートにて各項目の情報入力が終わったら、「エラー確認シート」へ移行します。

「✓」をプルダウンリストから選択します。

使用機器・部品一覧 エラー確認シート

入力が終わったら✓を選択してください。下表を確認し、必要に応じて修正をしてください。

入力項目	エラーの有無	エラー内容	修正が必要な箇所
1. 申請者名 ※共同申請の場合は、機器を導入する申請者名を記入			
申請者名	エラーあり	申請者名が空欄のため、入力してください。	C3
2. 車両動態管理システム、予約受付システム等、配車計画システム、AI・IoTによるシステム連携ツールの情報			
大区分	エラーなし		
小区分	エラーなし		
メーカー名	エラーなし		
品名	エラーなし		
3. トラック事業者と荷主等との連携で使用する機器・部品内訳			
全体	エラーあり	一部入力が漏れている箇所があります。	B14~D43

項目ごとにエラーの有無が表示されます。

「エラーあり」は必ず修正が必要です。

「要確認」は見直して問題がなければ修正等は不要です。

※このエラー確認シートは一般的な入力漏れ防止のための機能です。内容に不備がある場合は、別途事務局より連絡いたします。

8. 見積書（書式例）①

見積書は、任意のフォーマットによる提出が可能です。

本補助事業向けの見積書の書式例として、事業ホームページに

「見積書（書式例）（04dotai_mitsumori.xlsx）」を用意しております。

参考または活用してください。

※本資料の使用の有無によって交付決定の採択に影響を及ぼすことはありません。

※2社以上の見積取得は、必ず申請者自身が行ってください。

【注意】

このファイルはシートの保護をかけていません。設定されている関数を誤って削除した場合は、再度ファイルをダウンロードして再作成をしてください。

このファイルでは、交付申請に係る様式・提出書類のうち、以下を作成することができます。

- ・見積書(正)
- ・見積書(相)

8. 見積書（書式例）③

申請者名／販売会社の入力

令和4年度AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金

申請者名	
〇〇輸送株式会社	御中
販売会社	

「申請者名」は、販売相手となります。販売相手がリース事業者の場合、リース先となるトラック事業者（貨物事業者）または荷主等の法人名が判明している場合は、当該入力箇所に併記するか、シートの下部にある備考欄に入力してください。

販売会社（貴社）の情報を入力してください。社内規定等で社印の押印が必要な場合は、この欄にお願いします。

なお、本補助事業の提出書類としての見積書については押印が省略されていても不備とはなりません。

販売会社	
法人名	XXXX株式会社
住 所	東京都〇〇区〇〇町〇-〇-〇
担 当 者 名	円山 虎子
電 話 番 号	03-XXXX-XXXX
F A X	03-XXXX-RRRR
E - m a i l	▲▲▲▲@●●●●

8. 見積書（書式例）④

補助対象区分／システムの分類の選択

補助対象区分／システムの分類の選択

見積書		申請
御中	補助対象区分	補助対象
	システムの大分類	車両動態管理システム
	システムの小分類	① デジタコ導入型
	合計金額	税込

補助対象区分は、「補助対象」、「補助対象外」のどちらかを選択し、補助対象経費と補助対象外経費は可能な限り分けて見積書を作成してください。やむを得ない理由により難しい場合は、補助対象区分は、空欄のまま作成してください。なお、その場合、補助金の額は算出されません。参照：8.見積書（書式例）①

「システムの大分類」と「システムの小分類」は、下表を参考に選択してください。

システムの大分類	システムの小分類	概要
車両動態管理システム	① デジタコ導入型	デジタコ本体および付帯パーツ、ソフトウェア等
	② GPS車載器導入型	デジタコの導入なし又は既存所有のデジタコを利用
	③ サービス単独型	車両動態管理サービスのみを利用
予約受付システム等	予約受付システム	積卸施設への到着予定時刻を事前予約
	ASNシステム	事前出荷情報について発荷主から着荷主に事前に伝達
	受注情報事前確認システム	受注情報について発荷主がトラック事業者に事前共有
	パレット等管理システム	荷物・位置情報等を取得しパレット等を管理
配車計画システム	パレタイズシステム	ロボットによってパレットに荷積み又は荷卸し
		納入先までの効率的な配送ルート等の自動作成
AI・IoTによるシステム連携ツール	車両動態管理、予約受付等、配車計画システム	AI・IoTを活用して連携し更なる輸送効率化

8. 見積書（書式例）⑤

申請車両台数／導入事業所箇所数の入力

（化推進事業）

助対象	入力不要	PCKK使用欄
	税込	円

選択したシステムによってこの欄が以下の通りに変わります。

- ・ 車両動態管理システム

申請車両台数(台)	>>>申請車両台数 (台)
30	>>>上限50台まで

- ・ 予約受付システム等または配車計画システム

導入事業所箇所数(箇所)	>>>導入事業所箇所数 (箇所)
2	>>>上限なし

表示された項目に沿って数値を入力してください。

この欄には何も入力しないでください。

8. 見積書（書式例）⑥

申請車両台数／導入事業所箇所数の入力

合計金額	税込	14,882,780 円
	税抜	13,529,800 円
消費税		1,352,980 円
支払条件		金融機関振込
見積書番号		MTMR-XXXX
見積作成日		YYYY/MM/DD 作成
見積有効期限		YYYY/MM/DD まで

合計金額（税込）、（税抜）と消費税は、後述する品目ごとの金額入力により自動的に反映される関数が入力されています。
税率は10%で入力されています。

支払条件：本事業では金融機関振込のみとなります。※補助対象外経費はこの限りではありません。

見積書番号：必要に応じて入力してください。

見積作成日：入力方法は、西暦4桁/月1～2桁/日1～2桁です。

例) 作成日が「令和4年9月15日」の場合、“2022/9/15”と半角で入力。

見積有効期限：見積作成日と同様の入力方法または「作成日から●カ月」

<不備となるもの>

- ・公募公表日（2022年（令和4年）8月9日）よりも前の日付

8. 見積書（書式例）⑦

各品目の入力（項目）

項目	分類	品名	型式	数量	単位	単価(円)	金額(円)
設備費	車載器	DP-〇〇〇〇	〇〇-PPXX	30	台	128,000	3,840,000
設備費		メインハーネス	PPTT-XX	30	個	10,200	306,000
設備費		パルス変換器	RRXX-PP	30	個	14,500	435,000
設備費		パルス変換器用ハーネス	PPT-〇〇	30	個	3,200	96,000
設備費		車速センサー	〇〇-TTXX	30	個	10,600	318,000

項目に、品目の経費区分を「設計開発費」（車両動態管理システムは対象外）「設備費」、「諸経費」のいずれかをプルダウンリストから選択してください。

誤選択や選択漏れがあると、補助金の額や合計金額に正しく反映されないため注意してください。

項目の選択例は下表および公募要領P.12～26を参考にしてください。

項目	品目例
設計開発費	システム開発の外注費用、システム開発に係る人件費 など
設備費	車載器本体及びパーツ、ソフトウェア、ドラレコ など
諸経費	導入設備の取付費、設定費や利用費、ソフトウェア他入 など

8. 見積書（書式例）⑧

各品目の入力（分類）

項目	分類	品名	型式	数量	単位	単価(円)	金額(円)
設備費	車載器	DP-〇〇〇〇	〇〇-PPXX	30	台	128,000	3,840,000
設備費		メインハーネス	PPTT-XX	30	個	10,200	306,000
設備費		パルス変換器	RRXX-PP	30	個	14,500	435,000
設備費		パルス変換器用ハーネス	PPT-〇〇	30	個	3,200	96,000
設備費		車速センサー	〇〇-TTXX	30	個	10,600	318,000

分類は以下にならって選択してください。

- ・ 車両動態管理システムは、メインとなる車載器本体のみに「車載器」を選択。運行管理者等が自社内で使用する動態管理システムソフトなどの設備費に該当する品目すべてに「事務所用機器」を選択。その他は空欄とする。
- ・ 予約受付システム等、配車計画システム、AI・IoTによるシステム関係ツールは、メインとなるシステムに係る費用（市販品であればそのソフトウェア、開発導入であればその開発に係る費用すべて）に「メインシステム」を選択、その他の通信設備等の車両に取り付けない設備についてはすべて「事務所用機器」を選択。その他は空欄とする。

8. 見積書（書式例）⑨

各品目の入力（品目、型式）

項目	分類	品名	型式	数量	単位	単価(円)	金額(円)
設備費	車載器	DP-〇〇〇〇	〇〇-PPXX	30	台	128,000	3,840,000
設備費		メインハーネス	PPTT-XX	30	個	10,200	306,000
設備費		パルス変換器	RRXX-PP	30	個	14,500	435,000
設備費		パルス変換器用ハーネス	PPT-〇〇	30	個	3,200	96,000
設備費		車速センサー	〇〇-TTXX	30	個	10,600	318,000

品目は、最小単位で入力してください。
 車載器と周辺パーツやシステム開発費を取りまとめて一式としている場合、再提出を求める場合があります。

数量は必ず入力してください。
 右側の金額や合計金額の関数が自動計算されません。
 単位は、必要に応じて使用してください。

補助対象経費の品名は、「使用機器・部品一覧」に入力する名称と統一してください。

型式のある品目については、入力をしてください。

8. 見積書（書式例）⑩

各品目の入力（単価、金額）

項目	分類	品名	型式	数量	単位	単価(円)	金額(円)
設備費	車載器	DP-〇〇〇〇	〇〇-PPXX	30	台	128,000	3,840,000
設備費		メインハーネス	PPTT-XX	30	個	10,200	306,000
設備費		パルス変換器	RRXX-PP	30	個	14,500	435,000
設備費		パルス変換器用ハーネス	PPT-〇〇	30	個	3,200	96,000
設備費		車速センサー	〇〇-TTXX	30	個	10,600	318,000

単価を入力してください。

金額は、
数量×単価で自動反映されるよう関数が関数が設定されています。
不都合があれば直接金額を入力してください。

8. 見積書（書式例）⑪

各品目の入力（備考欄、合計欄）

備考欄		合計欄			
		項目	金額(円)	補助率	補助金の額
		設計開発費		/	/
		設備費			
		諸経費			
		合計(税抜)		1/2以内	

特記等があれば
こちらを使用し
てください。

合計欄については、入力項目等に漏れが
なければ自動計算されます。
金額に誤りがないか作成者自身でも
計算を行って確認してください。

9. システム機器資料①

システム機器資料は、任意によるフォーマットにて提出してください。

【車両動態管理システム】

- ・ デジタコ等の主要機器のカatalog等を提出してください。
- ・ 動態管理ソフトを導入する場合は、その仕様がわかるものを添付してください。
- ・ 機種によっては、申請者あるいはメーカーに仕様について問い合わせることがあります。

9. システム機器資料②

【予約受付システム等、配車計画システム、AI・IoTによるシステム連携ツール】

- ・主要となるシステムが市販品の場合は、そのカタログ等を提出してください。
- ・主要となるシステムを自社および外注問わず開発設計する場合は、その仕様書を提出してください。その際に個人情報等に係る内容が記載されている箇所は、塗りつぶし加工等を行っても構いません。ただし、システムの機能等に係る箇所については、加工等を行わないでください。



10. 参考資料（計算シート_トンキロ&燃料使用量記入例）

計算シート_トンキロ&燃料使用量を作成するにあたって、代表的な以下の4つのケースを具体例として紹介します。

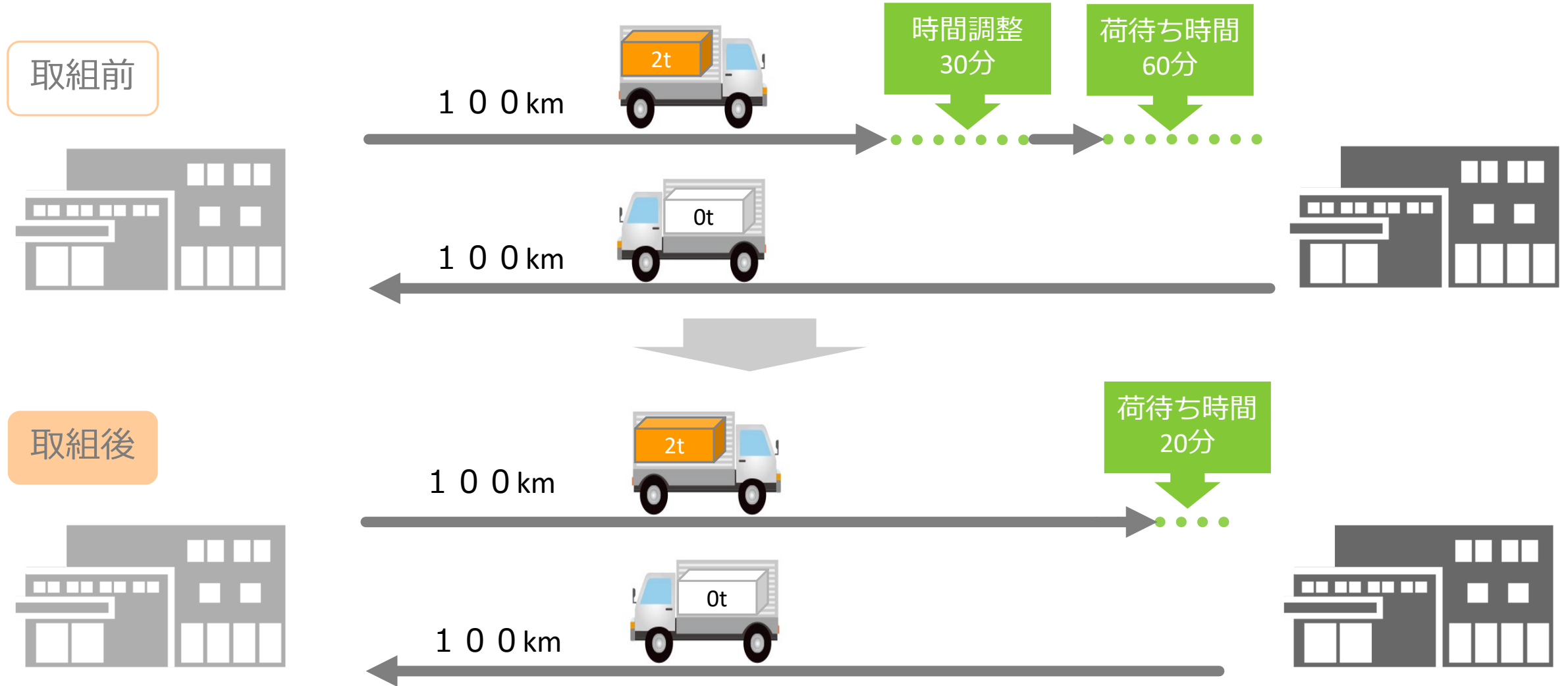
【ケーススタディ1】 荷主連携メニュー：区分A - 1 事前の車両到着予定時刻の共有
区分B - 6 発着時刻の調整

【ケーススタディ2】 荷主連携メニュー：区分A - 2 輸送距離及び輸送時間の削減
区分B - 6 発着時刻の調整

【ケーススタディ3】 荷主連携メニュー：区分A - 2 輸送距離及び輸送時間の削減
区分B - 8 積載余力がある車両の有効活用

【ケーススタディ4】 荷主連携メニュー：区分A - 2 輸送距離及び輸送時間の削減
区分B - 10 帰り荷確保など空荷車両の有効活用

【ケーススタディ1】 荷主連携メニュー：区分A - 1 事前の車両到着予定時刻の共有
区分B - 6 発着時刻の調整



荷主と納品時間の調整をし、リアルタイム動態把握にて車両到着時間の共有を実施
⇒早着による調整時間と荷待ち時間を1運行につき70分削減

【ケーススタディ1】 荷主連携メニュー：区分A-1 事前の車両到着予定時刻の共有 区分B-6 発着時刻の調整

取組前

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (1/3) v1.3

ログインID	40001	トラック事業者 /荷主等	パシフィック運輸株式会社
--------	-------	-----------------	--------------

【本自動計算シートの利用方法】

に1台1運行毎、1台につき10日間以上の①～⑩に関するデータを入力
※本表は複数台・10000運行の入力が可能（ただし、申請は50台まで）

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/transport/procedure/data/santei_manual.pdf
上記URLのP21～P23を参考にして記載すること。

エラー判定

運行データ

下限積載率を超えていないもしくは、
燃料使用量が想定よりも大幅に大きい
場合エラーになる

(1)1台1運行毎のデータ（連携前）

他社の荷主からの委託輸送が否かを記載

空荷の場合は「無」を選択

連番	連携前データ入力欄										自動算出欄				エラー判定
	①車両登録番号	②運行年月日	③燃料の種別	④自家輸送/ 委託輸送	⑤走行距離 (km)	⑥輸送量 (kg)	⑦最大積載量 (kg)	⑧燃費基準	⑨燃料使用量 (ℓ)	⑩積載有無	積載率 (%)	下限積載率 (%)	参考燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)	
1	品川あ1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
2	品川あ1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
3	品川あ1111	2022年8月2日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
4	品川あ1111	2022年8月2日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
5	品川あ1111	2022年8月3日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
6	品川あ1111	2022年8月3日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
7	品川あ1111	2022年8月4日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
8	品川あ1111	2022年8月4日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
9	品川あ1111	2022年8月5日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
10	品川あ1111	2022年8月5日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
11	品川あ1111	2022年8月6日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
12	品川あ1111	2022年8月6日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
13	品川あ1111	2022年8月7日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
14	品川あ1111	2022年8月7日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
15	品川あ1111	2022年8月8日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
16	品川あ1111	2022年8月8日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
17	品川あ1111	2022年8月9日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
18	品川あ1111	2022年8月9日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
19	品川あ1111	2022年8月10日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
20	品川あ1111	2022年8月10日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK

【ケーススタディ1】 荷主連携メニュー：区分A-1 事前の車両到着予定時刻の共有 区分B-6 発着時刻の調整

取組後

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (2/3) v1.3

ログインID

使用量ではなく、削減量です！
荷待ち時間削減等であれば、
「計算シート 荷待ち時間燃料
推計（荷主等）」を活用
※次ページを参照

見込み燃料使用量を入力。
何も入力がない場合、トン
キロ法（燃費法）で自動計
算された「参考燃料使用
量」が適用されます。

【本自動計算シートの利用方法】

に1台1運行毎、1台につき10日間以上の①～⑩に関する見込み数値による運行データを入力
※本表は複数台・10000運行の入力が可能（ただし、申請は50台まで）

エラー判定
運行データ

(3)1台1運行毎のデータ（連携後（見込み数値による想定））

連番	連携後（想定）データ入力欄										自動算出欄				エラー判定	
	①車両登録番号	②運行年月日	③燃料の種別	④自家輸送/ 委託輸送	⑤走行距離 (km)	⑥輸送量 (kg)	⑦最大積載量 (kg)	⑧燃費基準	⑨荷待ち時間削減等 による燃料削減量 (ℓ)	⑩積載有無	実施計画作成時にお ける見込み燃料使用量 (ℓ)	積載率 (%)	下限積載率 (%)	参考燃料使用量 (ℓ)		トンキロ (t・km)
1	品川あ1111	2022年11月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
2	品川あ1111	2022年11月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
3	品川あ1111	2022年11月2日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
4	品川あ1111	2022年11月2日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
5	品川あ1111	2022年11月3日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
6	品川あ1111	2022年11月3日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
7	品川あ1111	2022年11月4日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
8	品川あ1111	2022年11月4日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
9	品川あ1111	2022年11月5日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
10	品川あ1111	2022年11月5日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
11	品川あ1111	2022年11月6日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
12	品川あ1111	2022年11月6日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
13	品川あ1111	2022年11月7日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
14	品川あ1111	2022年11月7日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
15	品川あ1111	2022年11月8日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
16	品川あ1111	2022年11月8日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
17	品川あ1111	2022年11月9日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
18	品川あ1111	2022年11月9日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
19	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
20	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK

【ケーススタディ1】 荷主連携メニュー：区分A-1 事前の車両到着予定時刻の共有 区分B-6 発着時刻の調整

荷待ち時間削減/早着回避により削減される燃料使用量

■荷待ち時間からの燃料使用量の推計値算出表

【参考】算出方法について

※荷主等の申請の場合の「燃料使用量の推計値」については、以下の算出式と軽油換算係数を用いて算出

<算出式>

$$\boxed{\text{軽油使用量の推計値}} = \boxed{\text{荷待ち時間 (分) (アイドリング時のみ)}} \times \boxed{\text{軽油換算係数 (車両区分別)}}$$

<車両区分別の軽油換算係数>

車両区分※1	車両総重量	軽油換算係数※2 (アイドリング1分あたりの 軽油消費量[ℓ/分])	荷待ち時間 (アイドリング時のみ) [分]	軽油使用量の推計値 [ℓ]
T1~T4トラック	3.5t超~ 7.5t以下	0.0061	70	0.427
T5~T9トラック	7.5t超~ 16t以下	0.0080		0
T10~T11トラック	16t超	0.0135		0
TT1トラクタ	20t以下	0.0160		0
TT2トラクタ	20t超	0.0160		0

荷待ち時間等アイドリングによる燃料使用の削減の場合は、こちらの数値を「⑩ 荷待ち時間削減等による燃料削減量 (ℓ)」に入力

※1車両総重量による区分：T1~T11、TT1及びTT2区分は、「貨物自動車のエネルギー消費性能の向上に関するエネルギー消費機器等製造事業者等の判断の基準等」で定義されている車両総重量による区分を指す

※2一般社団法人日本自動車工業会 大型車燃費技術分科会 アイドリング時燃料消費量調査結果 (平成30年度自工会燃費集計データ) に基づく

【ケーススタディ1】 荷主連携メニュー：区分A-1 事前の車両到着予定時刻の共有 区分B-6 発着時刻の調整

取組後

【本自動計算シートの利用方法】

に1台1運行毎、1台につき10日間以上の①～⑩に関する見込み数値による運行データを入力

※本表は複数台・10000運行の入力が可能（ただし、申請は50台まで）

エラー判定

運行データ

2

下限積載率を超えていない場合や見込み燃料使用量から算出される燃費が実現困難な数値の場合は「エラー」となる

(3)1台1運行毎のデータ（連携後（見込み数値による想定））

連番	連携後（想定）データ入力欄											自動算出欄				エラー判定
	①車両登録番号	②運行年月日	③燃料の種類別	④自家輸送/ 委託輸送	⑤走行距離 (km)	⑥輸送量 (kg)	⑦最大積載量 (kg)	⑧燃費基準	⑨荷待ち時間削減等 による燃料削減量 (ℓ)	⑩積載有無	実施計画作成時における 見込み燃料使用量 (ℓ)	積載率 (%)	下限積載率 (%)	参考燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)	
1	品川あ1111	2022年11月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
2	品川あ1111	2022年11月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
3	品川あ1111	2022年11月2日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
4	品川あ1111	2022年11月2日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
5	品川あ1111	2022年11月3日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
6	品川あ1111	2022年11月3日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
7	品川あ1111	2022年11月4日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
8	品川あ1111	2022年11月4日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
9	品川あ1111	2022年11月5日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
10	品川あ1111	2022年11月5日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
11	品川あ1111	2022年11月6日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
12	品川あ1111	2022年11月6日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
13	品川あ1111	2022年11月7日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
14	品川あ1111	2022年11月7日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
15	品川あ1111	2022年11月8日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	20.54	50%	38%	20.96	200	OK
16	品川あ1111	2022年11月8日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
17	品川あ1111	2022年11月9日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.43	有	10.00	50%	38%	20.96	200	エラー
18	品川あ1111	2022年11月9日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
19	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	100.00	1000	4000	2015年基準達成	0.43	有	17.97	25%	38%	18.40	100	エラー
20	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	20.00	0%	38%	22.94	0	OK
21																

下記の場合、エラー判定となります！
①積載率が下限積載率を下回る場合
②走行距離と見込み燃料使用量から算出される燃費が、実現困難な値の場合

②

①

【ケーススタディ1】 荷主連携メニュー：区分A-1 事前の車両到着予定時刻の共有 区分B-6 発着時刻の調整

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (3/3) v1.3

ログインID	40001	トラック事業者/荷主等	パシフィック運輸株式会社
--------	-------	-------------	--------------

【本自動計算シートの利用方法】

に車両登録番号を入力すると算出シート1及び2から車両別に運行データが自動的に反映されます

の結果を実施計画書/自己評価結果に転記

※本表は車両50台の入力が可能

青枠部分の数値を実施計画書・自己評価結果へ転記

(5) 全車両の結果 (1台あたりの平均)

算出シート1および2と同じ文字で入力しないと、自動算出欄に反映しませんのでご注意ください。
(半角、全角の違いなど)

実施台数	連携前						連携後					
	稼働日数 (日)	総走行距離 (km)	総輸送量 (t)	平均積載率 (%)	合計燃料使用量 (ℓ)	総トンキロ (t・km)	稼働日数 (日)	総走行距離 (km)	総輸送量 (t)	平均積載率 (%)	合計燃料使用量 (ℓ)	総トンキロ (t・km)
1	10	2000	20	26.2%	430.00	2000.00	10	2000	20	25.3%	405.35	2000.00

(参考) 全車両の省エネルギー効果

省エネルギー効果	
トンキロあたりの燃料削減量 (ℓ/t・km)	トンキロあたりの燃料削減率 (%)
0.0123235	5.7%

計画値

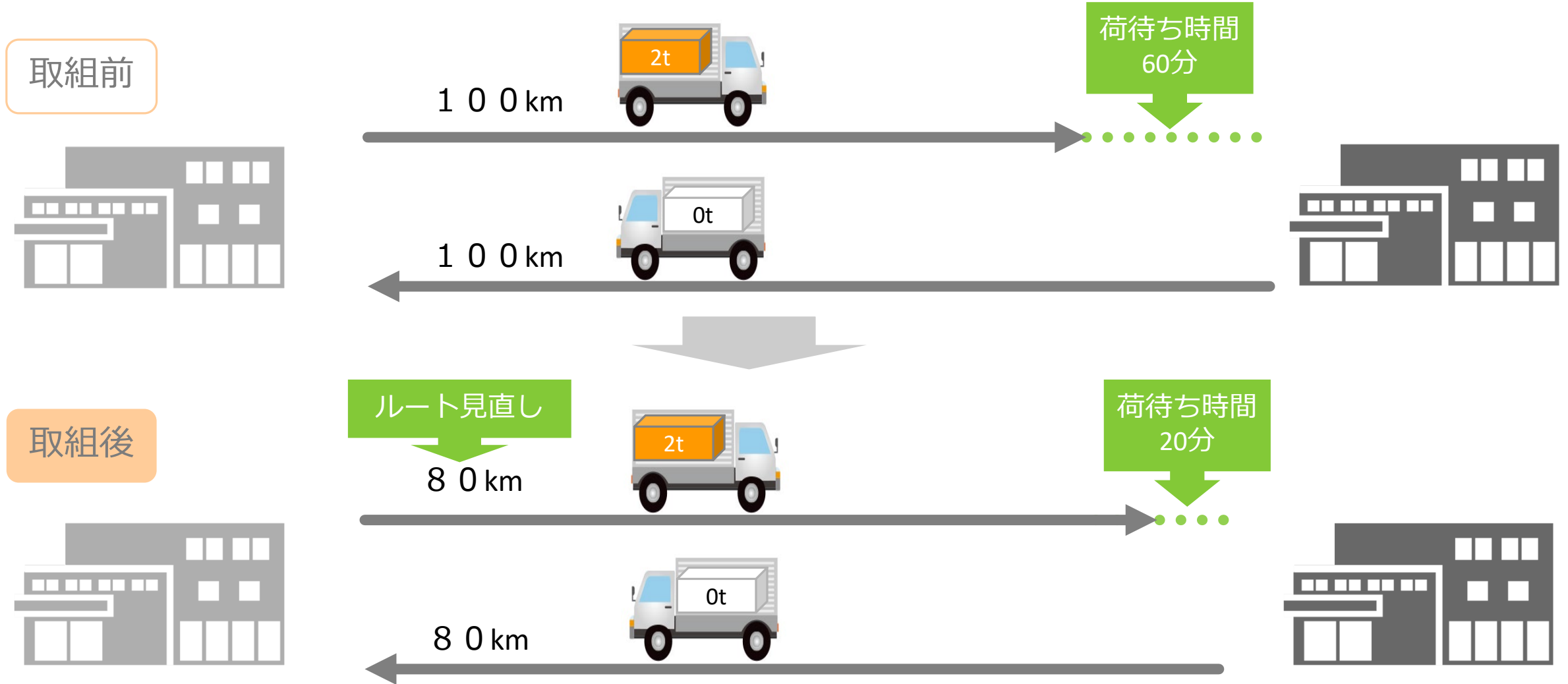
(6) 車両別の結果

車両登録番号	実施台数	自動算出欄：連携前 (実測期間10日)						自動算出欄：連携後 (実測期間10日)					
		稼働日数 (日)	走行距離 (km)	輸送量 (t)	平均積載率 (%)	燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)	稼働日数 (日)	走行距離 (km)	輸送量 (t)	平均積載率 (%)	燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)
品川あ1111	1	10	2000	20	26%	430.00	2000	10	2000	20	25%	405.35	2000
	2								0	0	0%	0.00	0
	3								0	0	0%	0.00	0
	4								0	0	0%	0.00	0
	5								0	0	0%	0.00	0
	6								0	0	0%	0.00	0
	7								0	0	0%	0.00	0
	8								0	0	0%	0.00	0

(参考) 車両別の省エネルギー効果

省エネルギー効果	
トンキロあたりの燃料削減量 (ℓ/t・km)	トンキロあたりの燃料削減率 (%)
0.0123235	5.7%

【ケーススタディ2】 荷主連携メニュー：区分A-2 輸送距離及び輸送時間の削減
区分B-6 発着時刻の調整



荷主と発着時刻の調整を実施し、輸送ルートの見直しを実施
⇒ 1 運行につき、輸送距離を 20 km、荷待ち時間を 40 分削減

【ケーススタディ2】 荷主連携メニュー：区分A-2 輸送距離及び輸送時間の削減 区分B-6 発着時刻の調整

取組前

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (1/3) v1.3

ログインID	40001	トラック事業者 /荷主等	パシフィック運輸株式会社
--------	-------	-----------------	--------------

【本自動計算シートの利用方法】

に1台1運行毎、1台につき10日間以上の①～⑩に関するデータを入力
※本表は複数台・10000運行の入力が可能（ただし、申請は50台まで）

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/transport/procedure/data/santei_manual.pdf
上記URLのP21～P23を参考にして記載すること。

エラー判定

運行アーク

空荷の場合は「無」を選択

下限積載率を超えていないもしくは、
燃料使用量が想定よりも大幅に大きい
場合エラーになる

(1)1台1運行毎のデータ（連携前）

他社の荷主からの委託輸送か否かを記載

連番	連携前データ入力欄										自動算出欄				エラー判定
	①車両登録番号	②運行年月日	③燃料の種別	④自家輸送/ 委託輸送	⑤走行距離 (km)	⑥輸送量 (kg)	⑦最大積載量 (kg)	⑧燃費基準	⑨燃料使用量 (ℓ)	⑩積載有無	積載率 (%)	下限積載率 (%)	参考燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)	
1	品川あ1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
2	品川あ1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
3	品川あ1111	2022年8月2日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
4	品川あ1111	2022年8月2日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
5	品川あ1111	2022年8月3日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
6	品川あ1111	2022年8月3日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
7	品川あ1111	2022年8月4日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
8	品川あ1111	2022年8月4日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
9	品川あ1111	2022年8月5日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
10	品川あ1111	2022年8月5日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
11	品川あ1111	2022年8月6日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
12	品川あ1111	2022年8月6日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
13	品川あ1111	2022年8月7日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
14	品川あ1111	2022年8月7日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
15	品川あ1111	2022年8月8日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
16	品川あ1111	2022年8月8日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
17	品川あ1111	2022年8月9日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
18	品川あ1111	2022年8月9日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
19	品川あ1111	2022年8月10日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
20	品川あ1111	2022年8月10日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK

【ケーススタディ2】 荷主連携メニュー：区分A-2 輸送距離及び輸送時間の削減 区分B-6 発着時刻の調整

取組後

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (2/3) v1.3

ログインID

トラック事業者

トラック運

【本自動計算シートの利用方法】

に1台1運行毎、1台につき10日間以上の①～⑩に関する見込み数値による運行データを入力
※本表は複数台・10000運行の入力が可能（ただし、申請は50台まで）

荷待ち時間削減等であれば、「計算シート_荷待ち時間燃料推計（荷主等）」を活用
※次ページを参照

見込み燃料使用量を入力。何も入力がない場合、トンキロ法（燃費法）で自動計算された「参考燃料使用量」が適用されます。

エラー判定
運行データ

燃料使用量
の場合

(3)1台1運行毎のデータ（連携後（見込み数値による想定））

連番	連携後（想定）データ入力欄										自動算出欄				エラー判定	
	①車両登録番号	②運行年月日	③燃料の種類別	④自家輸送/ 委託輸送	⑤走行距離 (km)	⑥輸送量 (kg)	⑦最大積載量 (kg)	⑧燃費基準	⑨荷待ち時間削減等 による燃料削減量 (ℓ)	⑩積載有無	実施計画作成時における 見込み燃料使用量 (ℓ)	積載率 (%)	下限積載率 (%)	参考燃料使用量 (ℓ)		トンキロ (t・km)
1	品川あ1111	2022年11月1日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2.015年基準達成	0.24	有	16.53	50%	38%	16.77	160	OK
2	品川あ1111	2022年11月1日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2.015年基準達成	0.00	無	16.00	0%	38%	18.35	0	OK
3	品川あ1111	2022年11月2日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2.015年基準達成	0.24	有	16.53	50%	38%	16.77	160	OK
4	品川あ1111	2022年11月2日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2.015年基準達成	0.00	無	16.00	0%	38%	18.35	0	OK
5	品川あ1111	2022年11月3日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2.015年基準達成	0.24	有	16.53	50%	38%	16.77	160	OK
6	品川あ1111	2022年11月3日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2.015年基準達成	0.00	無	16.00	0%	38%	18.35	0	OK
7	品川あ1111	2022年11月4日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2.015年基準達成	0.24	有	16.53	50%	38%	16.77	160	OK
8	品川あ1111	2022年11月4日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2.015年基準達成	0.00	無	16.00	0%	38%	18.35	0	OK
9	品川あ1111	2022年11月5日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2.015年基準達成	0.24	有	16.53	50%	38%	16.77	160	OK
10	品川あ1111	2022年11月5日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2.015年基準達成	0.00	無	16.00	0%	38%	18.35	0	OK
11	品川あ1111	2022年11月6日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2.015年基準達成	0.24	有	16.53	50%	38%	16.77	160	OK
12	品川あ1111	2022年11月6日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2.015年基準達成	0.00	無	16.00	0%	38%	18.35	0	OK
13	品川あ1111	2022年11月7日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2.015年基準達成	0.24	有	16.53	50%	38%	16.77	160	OK
14	品川あ1111	2022年11月7日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2.015年基準達成	0.00	無	16.00	0%	38%	18.35	0	OK
15	品川あ1111	2022年11月8日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2.015年基準達成	0.24	有	16.53	50%	38%	16.77	160	OK
16	品川あ1111	2022年11月8日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2.015年基準達成	0.00	無	16.00	0%	38%	18.35	0	OK
17	品川あ1111	2022年11月9日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2.015年基準達成	0.24	有	16.53	50%	38%	16.77	160	OK
18	品川あ1111	2022年11月9日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2.015年基準達成	0.00	無	16.00	0%	38%	18.35	0	OK
19	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2.015年基準達成	0.24	有	16.53	50%	38%	16.77	160	OK
20	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2.015年基準達成	0.00	無	16.00	0%	38%	18.35	0	OK

【ケーススタディ2】 荷主連携メニュー：区分A-2 輸送距離及び輸送時間の削減 区分B-6 発着時刻の調整

荷待ち時間削減/早着回避により削減される燃料使用量

■荷待ち時間からの燃料使用量の推計値算出表

【参考】算出方法について

※荷主等の申請の場合の「燃料使用量の推計値」については、以下の算出式と軽油換算係数を用いて算出

<算出式>

軽油使用量の 推計値	=	荷待ち時間（分） （アイドリング時のみ）	×	軽油換算係数 （車両区分別）
---------------	---	-------------------------	---	-------------------

<車両区分別の軽油換算係数>

車両区分※1	車両総重量	軽油換算係数※2 （アイドリング1分あたりの 軽油消費量[ℓ/分]）	荷待ち時間 （アイドリング時のみ） [分]	軽油使用量の推計値 [ℓ]
T1～T4トラック	3.5t超～ 7.5t以下	0.0061	40	0.244
T5～T9トラック	7.5t超～ 16t以下	0.0080		0
T10～T11トラック	16t超	0.0135		0
TT1トラクタ	20t以下	0.0160		0
TT2トラクタ	20t超	0.0160		0

荷待ち時間等アイドリングによる燃料使用の削減の場合は、こちらの数値を「⑩ 荷待ち時間削減等による燃料削減量（ℓ）」に入力

※1車両総重量による区分：T1～T11、TT1及びTT2区分は、「貨物自動車のエネルギー消費性能の向上に関するエネルギー消費機器等製造事業者等の判断の基準等」で定義されている車両総重量による区分を指す

※2一般社団法人日本自動車工業会 大型車燃費技術分科会 アイドリング時燃料消費量調査結果（平成30年度自工会燃費集計データ）に基づく

【ケーススタディ2】 荷主連携メニュー：区分A-2 輸送距離及び輸送時間の削減 区分B-6 発着時刻の調整

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (3/3) v1.3

ログインID	40001	トラック事業者/荷主等	パシフィック運輸株式会社
--------	-------	-------------	--------------

【本自動計算シートの利用方法】

に車両登録番号を入力すると算出シート1及び2から車両別に運行データが自動的に反映されます

の結果を実施計画書/自己評価結果に転記

※本表は車両50台の入力が可能

青枠部分の数値を実施計画書・自己評価結果へ転記

(5)全車両の結果 (1台あたりの平均)

算出シート1および2と同じ文字で入力しないと、自動算出欄に反映しませんのでご注意ください。
(半角、全角の違いなど)

実施台数	連携前						連携後					
	稼働日数 (日)	総走行距離 (km)	総輸送量 (t)	平均積載率 (%)	合計燃料使用量 (ℓ)	総トンキロ (t・km)	稼働日数 (日)	総走行距離 (km)	総輸送量 (t)	平均積載率 (%)	合計燃料使用量 (ℓ)	総トンキロ (t・km)
1	10	2000	20	26.2%	430.00	2000.00	10	1600	20	25.4%	325.26	1600.00

(参考) 全車両の省エネルギー効果

省エネルギー効果	
トンキロあたりの燃料削減量 (ℓ/t・km)	トンキロあたりの燃料削減率 (%)
0.0117135	5.4%

(6)車両別の結果

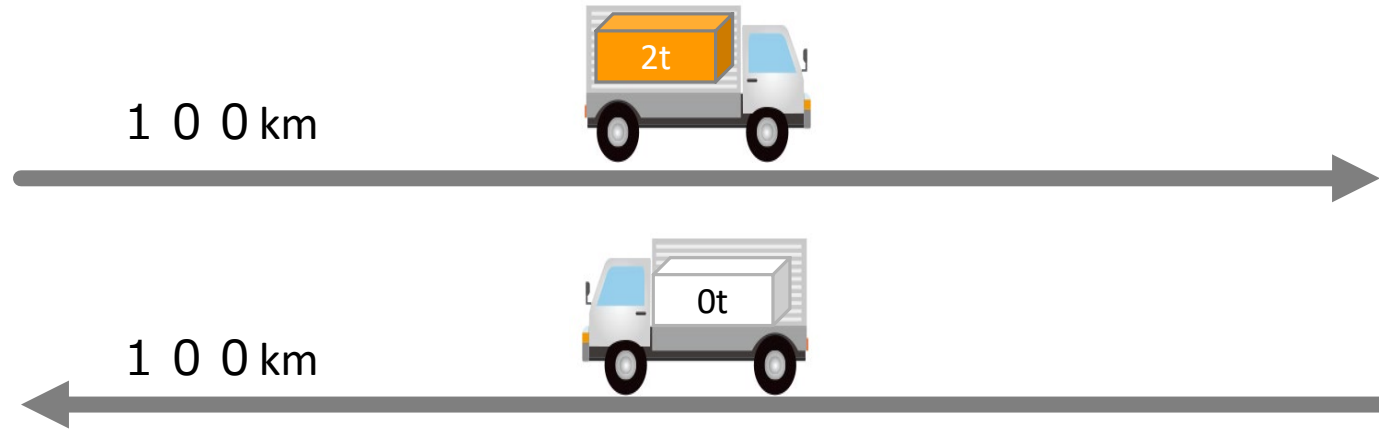
車両登録番号	実施台数	自動算出欄：連携前 (実測期間10日)						自動算出欄：連携後 (実測期間10日)					
		稼働日数 (日)	走行距離 (km)	輸送量 (t)	平均積載率 (%)	燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)	稼働日数 (日)	走行距離 (km)	輸送量 (t)	平均積載率 (%)	燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)
品川あ1111	1	10	2000	20	26%	430.00	2000	10	1600	20	25%	325.26	1600
	2								0	0	0%	0.00	0
	3								0	0	0%	0.00	0
	4								0	0	0%	0.00	0
	5								0	0	0%	0.00	0
	6								0	0	0%	0.00	0
	7								0	0	0%	0.00	0
	8								0	0	0%	0.00	0
	9								0	0	0%	0.00	0

(参考) 車両別の省エネルギー効果

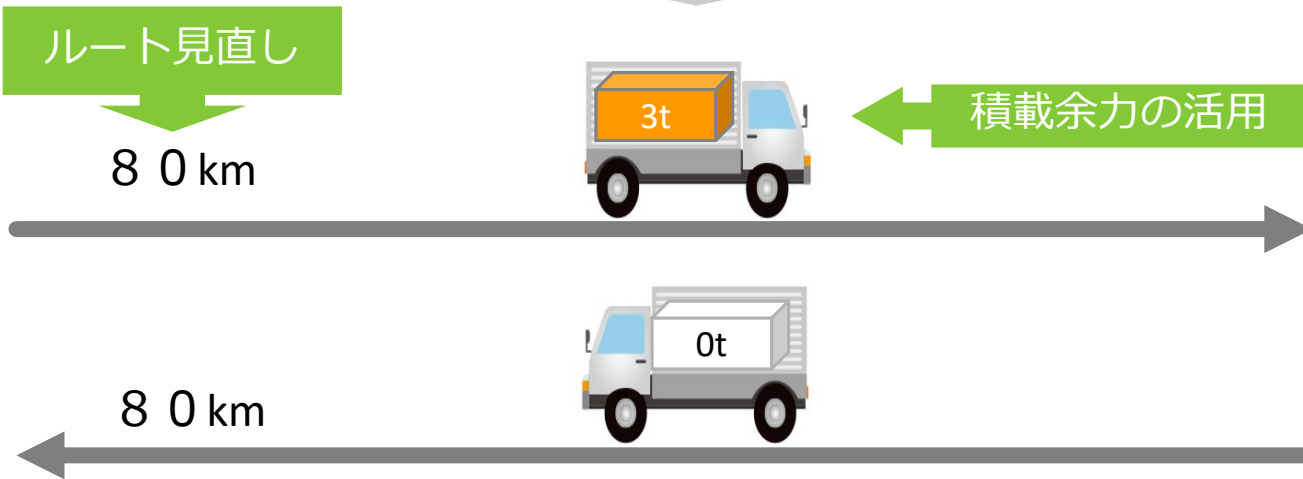
省エネルギー効果	
トンキロあたりの燃料削減量 (ℓ/t・km)	トンキロあたりの燃料削減率 (%)
0.0117135	5.4%

【ケーススタディ3】 荷主連携メニュー：区分A - 2 輸送距離及び輸送時間の削減
区分B - 8 積載余力がある車両の有効活用

取組前



取組後



輸送ルートの見直しを実施し、積載余力のある車両を活用
⇒ 1 運行につき、輸送距離を 20 km 削減、往路の積載率を 50% から 75% に

【ケーススタディ3】 荷主連携メニュー：区分A-2 輸送距離及び輸送時間の削減 区分B-8 積載余力がある車両の有効活用

取組前

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (1/3) v1.3

ログインID	40001	トラック事業者/荷主等	パシフィック運輸株式会社
--------	-------	-------------	--------------

【本自動計算シートの利用方法】

に1台1運行毎、1台につき10日間以上の①～⑩に関するデータを入力
※本表は複数台・10000運行の入力が可能（ただし、申請は50台まで）

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/transport/procedure/data/santei_manual.pdf
上記URLのP21～P23を参考にして記載すること。

エラー判定

運行データ

空荷の場合は「無」を選択

下限積載率を超えていないもしくは、
燃料使用量が想定よりも大幅に大きい場合エラーになる

(1) 1台1運行毎のデータ（連携前）

他社の荷主からの委託輸送が否かを記載

連番	連携前データ入力欄										自動算出欄				エラー判定
	①車両登録番号	②運行年月日	③燃料の種類別	④自家輸送/委託輸送	⑤走行距離 (km)	⑥輸送量 (kg)	⑦最大積載量 (kg)	⑧燃費基準	⑨燃料使用量 (ℓ)	⑩積載有無	積載率 (%)	下限積載率 (%)	参考燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)	
1	品川あ1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
2	品川あ1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
3	品川あ1111	2022年8月2日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
4	品川あ1111	2022年8月2日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
5	品川あ1111	2022年8月3日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
6	品川あ1111	2022年8月3日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
7	品川あ1111	2022年8月4日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
8	品川あ1111	2022年8月4日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
9	品川あ1111	2022年8月5日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
10	品川あ1111	2022年8月5日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
11	品川あ1111	2022年8月6日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
12	品川あ1111	2022年8月6日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
13	品川あ1111	2022年8月7日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
14	品川あ1111	2022年8月7日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
15	品川あ1111	2022年8月8日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
16	品川あ1111	2022年8月8日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
17	品川あ1111	2022年8月9日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
18	品川あ1111	2022年8月9日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
19	品川あ1111	2022年8月10日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
20	品川あ1111	2022年8月10日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
21															

【ケーススタディ3】 荷主連携メニュー：区分A-2 輸送距離及び輸送時間の削減 区分B-8 積載余力がある車両の有効活用

取組後

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (2/3) v1.3

ログインID	40001	トラック事業者 /荷主等	パシ...
--------	-------	-----------------	-------

【本自動計算シートの利用方法】

に1台1運行毎、1台につき10日間以上の①～⑩に関する見込み数値による運行データを入力
※本表は複数台・10000運行の入力が可能（ただし、申請は50台まで）

見込み燃料使用量を入力。
何も入力がない場合、トン
キロ法（燃費法）で自動計
算された「参考燃料使用
量」が適用されます。

見込み燃料使用
量な数値の場合は

エラー判定
運行データ

(3)1台1運行毎のデータ（連携後（見込み数値による想定））

連番	連携後（想定）データ入力欄										自動算出欄				エラー判定	
	①車両登録番号	②運行年月日	③燃料の種類別	④自家輸送/ 委託輸送	⑤走行距離 (km)	⑥輸送量 (kg)	⑦最大積載量 (kg)	⑧燃費基準	⑨荷待ち時間削減等 による燃料削減量 (ℓ)	⑩積載有無	実施計画作成時にお ける見込み燃料使用量 (ℓ)	積載率 (%)	下限積載率 (%)	参考燃料使用量 (ℓ)		トンキロ (t・km)
1	品川あ1111	2022年11月1日	軽油	委託輸送	80.00	3000	4000	2015年基準達成	0.00	有	18.10	75%	38%	18.10	240	OK
2	品川あ1111	2022年11月1日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2015年基準達成	2.00	無	16.35	0%	38%	18.35	0	OK
3	品川あ1111	2022年11月2日	軽油	委託輸送	80.00	3000	4000	2015年基準達成	0.00	有	18.10	75%	38%	18.10	240	OK
4	品川あ1111	2022年11月2日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2015年基準達成	2.00	無	16.35	0%	38%	18.35	0	OK
5	品川あ1111	2022年11月3日	軽油	委託輸送	80.00	3000	4000	2015年基準達成	0.00	有	18.10	75%	38%	18.10	240	OK
6	品川あ1111	2022年11月3日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2015年基準達成	2.00	無	16.35	0%	38%	18.35	0	OK
7	品川あ1111	2022年11月4日	軽油	委託輸送	80.00	3000	4000	2015年基準達成	0.00	有	18.10	75%	38%	18.10	240	OK
8	品川あ1111	2022年11月4日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2015年基準達成	2.00	無	16.35	0%	38%	18.35	0	OK
9	品川あ1111	2022年11月5日	軽油	委託輸送	80.00	3000	4000	2015年基準達成	0.00	有	18.10	75%	38%	18.10	240	OK
10	品川あ1111	2022年11月5日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2015年基準達成	2.00	無	16.35	0%	38%	18.35	0	OK
11	品川あ1111	2022年11月6日	軽油	委託輸送	80.00	3000	4000	2015年基準達成	0.00	有	18.10	75%	38%	18.10	240	OK
12	品川あ1111	2022年11月6日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2015年基準達成	2.00	無	16.35	0%	38%	18.35	0	OK
13	品川あ1111	2022年11月7日	軽油	委託輸送	80.00	3000	4000	2015年基準達成	0.00	有	18.10	75%	38%	18.10	240	OK
14	品川あ1111	2022年11月7日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2015年基準達成	2.00	無	16.35	0%	38%	18.35	0	OK
15	品川あ1111	2022年11月8日	軽油	委託輸送	80.00	3000	4000	2015年基準達成	0.00	有	18.10	75%	38%	18.10	240	OK
16	品川あ1111	2022年11月8日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2015年基準達成	2.00	無	16.35	0%	38%	18.35	0	OK
17	品川あ1111	2022年11月9日	軽油	委託輸送	80.00	3000	4000	2015年基準達成	0.00	有	18.10	75%	38%	18.10	240	OK
18	品川あ1111	2022年11月9日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2015年基準達成	2.00	無	16.35	0%	38%	18.35	0	OK
19	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	80.00	3000	4000	2015年基準達成	0.00	有	18.10	75%	38%	18.10	240	OK
20	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	80.00	0	4000	2015年基準達成	2.00	無	16.35	0%	38%	18.35	0	OK

【ケーススタディ3】 荷主連携メニュー：区分A-2 輸送距離及び輸送時間の削減 区分B-8 積載余力がある車両の有効活用

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (3/3) v1.3

ログインID	40001	トラック事業者/荷主等	パシフィック運輸株式会社
--------	-------	-------------	--------------

【本自動計算シートの利用方法】

 に車両登録番号を入力すると算出シート1及び2から車両別に運行データが自動的に反映されます

 の結果を実施計画書/自己評価結果に転記

※本表は車両50台の入力が可能

青枠部分の数値を実施計画書・自己評価結果へ転記

(5) 全車両の結果 (1台あたりの平均)

実施台数	連携前						連携後					
	稼働日数 (日)	総走行距離 (km)	総輸送量 (t)	平均積載率 (%)	合計燃料使用量 (ℓ)	総トンキロ (t・km)	稼働日数 (日)	総走行距離 (km)	総輸送量 (t)	平均積載率 (%)	合計燃料使用量 (ℓ)	総トンキロ (t・km)
1	10	2000	20	26.2%	430.00	2000.00	10	1600	30	39.4%	344.47	2400.00

算出シート1および2と同じ文字で入力しないと、自動算出欄に反映しませんのでご注意ください。(半角、全角の違いなど)

(参考) 全車両の省エネルギー効果

省エネルギー効果	
トンキロあたりの燃料削減量 (ℓ/t・km)	トンキロあたりの燃料削減率 (%)
0.0714718	33.2%

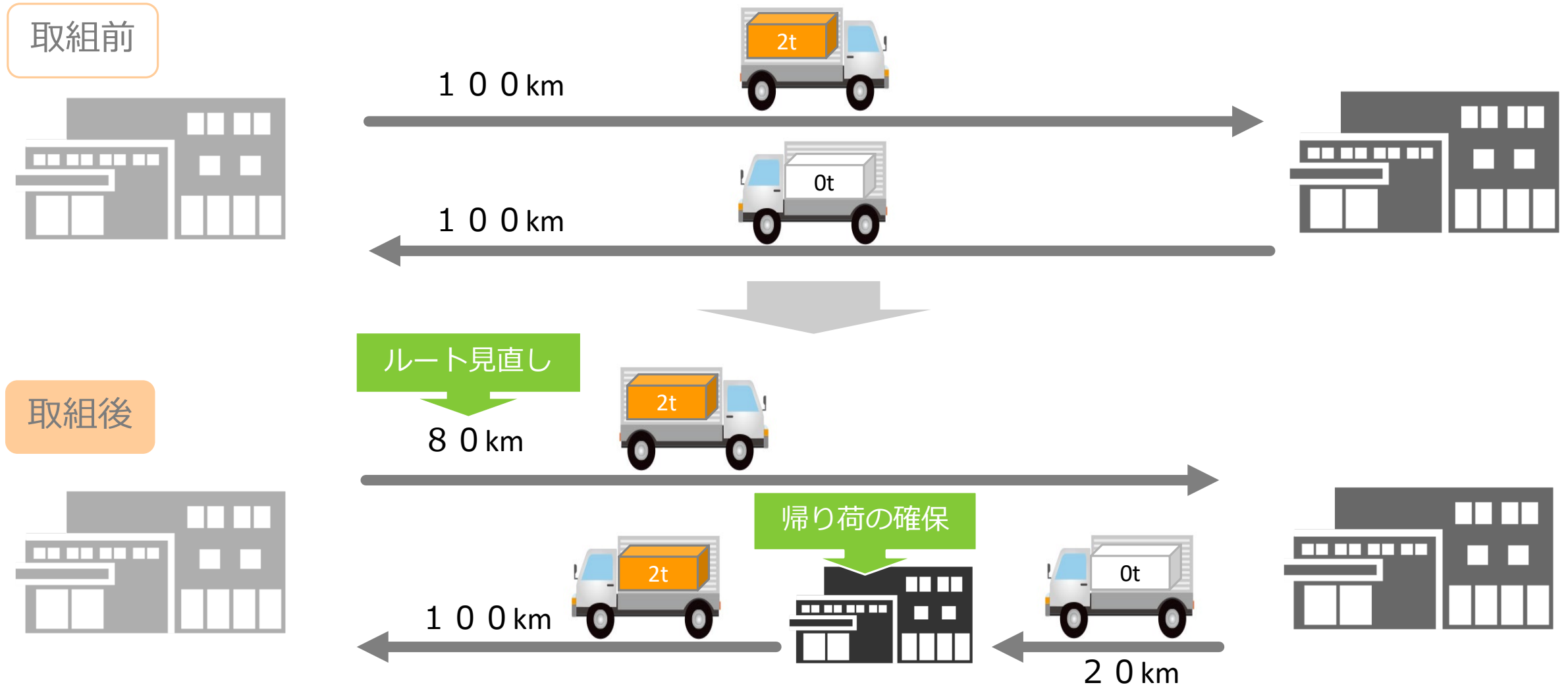
(6) 車両別の結果

車両登録番号	実施台数	自動算出欄：連携前 (実測期間10日)						自動算出欄：連携後 (実測期間10日)					
		稼働日数 (日)	走行距離 (km)	輸送量 (t)	平均積載率 (%)	燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)	稼働日数 (日)	走行距離 (km)	輸送量 (t)	平均積載率 (%)	燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)
品川あ1111	1	10	2000	20	26%	430.00	2000	10	1600	30	39%	344.47	2400
	2								0	0	0%	0.00	0
	3								0	0	0%	0.00	0
	4								0	0	0%	0.00	0
	5								0	0	0%	0.00	0
	6								0	0	0%	0.00	0
	7								0	0	0%	0.00	0
	8								0	0	0%	0.00	0

(参考) 車両別の省エネルギー効果

省エネルギー効果	
トンキロあたりの燃料削減量 (ℓ/t・km)	トンキロあたりの燃料削減率 (%)
0.0714718	33.2%

【ケーススタディ4】 荷主連携メニュー：区分A-2 輸送距離及び輸送時間の削減
区分B-10 帰り荷確保など空荷車両の有効活用



輸送ルートの見直しを実施し、帰り荷を確保
⇒往路の輸送距離を20 km削減、復路の積載率を0%から50%に

【ケーススタディ4】 荷主連携メニュー：区分A-2 輸送距離及び輸送時間の削減 区分B-10 帰り荷確保など空荷車両の有効活用

取組前

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (1/3) v1.3

ログインID	40001	トラック事業者 /荷主等	パシフィック運輸株式会社
--------	-------	-----------------	--------------

【本自動計算シートの利用方法】

に1台1運行毎、1台につき10日間以上の①～⑩に関するデータを入力
※本表は複数台・10000運行の入力が可能（ただし、申請は50台まで）

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/transport/procedure/data/santei_manual.pdf
上記URLのP21～P23を参考にして記載すること。

エラー判定

運行データ

空荷の場合は「無」を選択

下限積載率を超えていないもしくは、
燃料使用量が想定よりも大幅に大きい場合エラーになる

(1)1台1運行毎のデータ（連携前）

他社の荷主からの委託輸送が否かを記載

連番	連携前データ入力欄										自動算出欄				エラー判定
	①車両登録番号	②運行年月日	③燃料の種別	④自家輸送/ 委託輸送	⑤走行距離 (km)	⑥輸送量 (kg)	⑦最大積載量 (kg)	⑧燃費基準	⑨燃料使用量 (ℓ)	⑩積載有無	積載率 (%)	下限積載率 (%)	参考燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)	
1	品川あ1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
2	品川あ1111	2022年8月1日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
3	品川あ1111	2022年8月2日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
4	品川あ1111	2022年8月2日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
5	品川あ1111	2022年8月3日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
6	品川あ1111	2022年8月3日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
7	品川あ1111	2022年8月4日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
8	品川あ1111	2022年8月4日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
9	品川あ1111	2022年8月5日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
10	品川あ1111	2022年8月5日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
11	品川あ1111	2022年8月6日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
12	品川あ1111	2022年8月6日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
13	品川あ1111	2022年8月7日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
14	品川あ1111	2022年8月7日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
15	品川あ1111	2022年8月8日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
16	品川あ1111	2022年8月8日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
17	品川あ1111	2022年8月9日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	22.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
18	品川あ1111	2022年8月9日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	20.00	無	0%	38%	22.94	0	OK
19	品川あ1111	2022年8月10日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	23.00	有	50%	38%	20.96	200	OK
20	品川あ1111	2022年8月10日	軽油	委託輸送	100.00	0	4000	2015年基準達成	21.00	無	0%	38%	22.94	0	OK

【ケーススタディ4】 荷主連携メニュー：区分A-2 輸送距離及び輸送時間の削減 区分B-10 帰り荷確保など空荷車両の有効活用

取組後

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (2/3) v1.3

ログインID

40001

トラック事業者
/荷主等

パシフィ

見込み燃料使用量を入力。
何も入力がない場合、トン
キロ法（燃費法）で自動計
算された「参考燃料使用
量」が適用されます。

【本自動計算シートの利用方法】

に1台1運行毎、1台につき10日間以上の①～⑩に関する見込み数値による運行データを入力

※本表は複数台・10000運行の入力が可能（ただし、申請は50台まで）

エラー判定
運行データ

見込み燃料使用
量の場合

(3)1台1運行毎のデータ（連携後（見込み数値による想定））

連番	連携後（想定）データ入力欄										自動算出欄				エラー判定	
	①車両登録番号	②運行年月日	③燃料の種類別	④自家輸送/ 委託輸送	⑤走行距離 (km)	⑥輸送量 (kg)	⑦最大積載量 (kg)	⑧燃費基準	⑨待ち時間削減等 による燃料削減量 (ℓ)	⑩積載有無	実施計画作成時におけ る見込み燃料使用量 (ℓ)	積載率 (%)	下限積載率 (%)	参考燃料使用量 (ℓ)		トンキロ (t・km)
1	品川あ1111	2022年11月1日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	16.77	50%	38%	16.77	160	OK
2	品川あ1111	2022年11月1日	軽油	委託輸送	20.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	4.59	0%	38%	4.59	0	OK
3	品川あ1111	2022年11月1日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	20.96	50%	38%	20.96	200	OK
4	品川あ1111	2022年11月2日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	16.77	50%	38%	16.77	160	OK
5	品川あ1111	2022年11月2日	軽油	委託輸送	20.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	4.59	0%	38%	4.59	0	OK
6	品川あ1111	2022年11月2日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	20.96	50%	38%	20.96	200	OK
7	品川あ1111	2022年11月3日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	16.77	50%	38%	16.77	160	OK
8	品川あ1111	2022年11月3日	軽油	委託輸送	20.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	4.59	0%	38%	4.59	0	OK
9	品川あ1111	2022年11月3日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	20.96	50%	38%	20.96	200	OK
10	品川あ1111	2022年11月4日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	16.77	50%	38%	16.77	160	OK
11	品川あ1111	2022年11月4日	軽油	委託輸送	20.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	4.59	0%	38%	4.59	0	OK
12	品川あ1111	2022年11月4日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	20.96	50%	38%	20.96	200	OK
13	品川あ1111	2022年11月5日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	16.77	50%	38%	16.77	160	OK
14	品川あ1111	2022年11月5日	軽油	委託輸送	20.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	4.59	0%	38%	4.59	0	OK
15	品川あ1111	2022年11月5日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	20.96	50%	38%	20.96	200	OK
16	品川あ1111	2022年11月6日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	16.77	50%	38%	16.77	160	OK
17	品川あ1111	2022年11月6日	軽油	委託輸送	20.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	4.59	0%	38%	4.59	0	OK
18	品川あ1111	2022年11月7日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	20.96	50%	38%	20.96	200	OK
19	品川あ1111	2022年11月7日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	16.77	50%	38%	16.77	160	OK
20	品川あ1111	2022年11月8日	軽油	委託輸送	20.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	4.59	0%	38%	4.59	0	OK
21	品川あ1111	2022年11月8日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	20.96	50%	38%	20.96	200	OK
22	品川あ1111	2022年11月9日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	16.77	50%	38%	16.77	160	OK
23	品川あ1111	2022年11月9日	軽油	委託輸送	20.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	4.59	0%	38%	4.59	0	OK
24	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	20.96	50%	38%	20.96	200	OK
25	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	16.77	50%	38%	16.77	160	OK
26	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	20.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	4.59	0%	38%	4.59	0	OK
27	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	20.96	50%	38%	20.96	200	OK
28	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	80.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	16.77	50%	38%	16.77	160	OK
29	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	20.00	0	4000	2015年基準達成	0.00	無	4.59	0%	38%	4.59	0	OK
30	品川あ1111	2022年11月10日	軽油	委託輸送	100.00	2000	4000	2015年基準達成	0.00	有	20.96	50%	38%	20.96	200	OK
31																

【ケーススタディ4】 荷主連携メニュー：区分A-2 輸送距離及び輸送時間の削減 区分B-10 帰り荷確保など空荷車両の有効活用

トンキロ&燃料使用量 自動計算シート (3/3) v1.3

ログインID	40001	トラック事業者/荷主等	パシフィック運輸株式会社
--------	-------	-------------	--------------

【本自動計算シートの利用方法】

に車両登録番号を入力すると算出シート1及び2から車両別に運行データが自動的に反映されます

の結果を実施計画書/自己評価結果に転記

※本表は車両50台の入力が可能

青枠部分の数値を実施計画書・自己評価結果へ転記

(5)全車両の結果 (1台あたりの平均)

実施台数	連携前						連携後					
	稼働日数 (日)	総走行距離 (km)	総輸送量 (t)	平均積載率 (%)	合計燃料使用量 (ℓ)	総トンキロ (t・km)	稼働日数 (日)	総走行距離 (km)	総輸送量 (t)	平均積載率 (%)	合計燃料使用量 (ℓ)	総トンキロ (t・km)
1	10	2000	20	26.2%	430.00	2000.00	10	2000	40	44.6%	423.19	3600.00

算出シート1および2と同じ文字で入力しないと、自動算出欄に反映しませんのでご注意ください。
(半角、全角の違いなど)

(参考) 全車両の省エネルギー効果

省エネルギー効果	
トンキロあたりの燃料削減量 (ℓ/t・km)	トンキロあたりの燃料削減率 (%)
0.0974464	45.3%

(6)車両別の結果

車両登録番号	実施台数	自動算出欄：連携前 (実測期間10日)						自動算出欄：連携後 (実測期間10日)					
		稼働日数 (日)	走行距離 (km)	輸送量 (t)	平均積載率 (%)	燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)	稼働日数 (日)	走行距離 (km)	輸送量 (t)	平均積載率 (%)	燃料使用量 (ℓ)	トンキロ (t・km)
品川あ1111	1	10	2000	20	26%	430.00	2000	10	2000	40	45%	423.19	3600
	2								0	0	0%	0.00	0
	3								0	0	0%	0.00	0
	4								0	0	0%	0.00	0
	5								0	0	0%	0.00	0
	6								0	0	0%	0.00	0
	7								0	0	0%	0.00	0
	8								0	0	0%	0.00	0

(参考) 車両別の省エネルギー効果

省エネルギー効果	
トンキロあたりの燃料削減量 (ℓ/t・km)	トンキロあたりの燃料削減率 (%)
0.0974464	45.3%